

NEC

P C 9 8 -

NX

PC98-**NX** SERIES

LaVie NX

(Windows 98 インストール)

活用ガイド ソフトウェア編

アプリケーションの削除と追加
再セットアップするには
他のOSを利用するには

マニュアルの

主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



- 『入門ガイド』（LaVieの一太郎モデルとWordモデルのみ）
Windowsやワープロの基本操作を解説した、入門者向けのマニュアルです。
 - ・NXパッドの基本操作
 - ・ウィンドウの基本操作
 - ・ワープロ入門（一太郎／Word）
 - ・ファイルの使い方
 - ・いろいろなソフトウェアの紹介



- 『インターネットガイド』（LaVieのみ）
インターネットに接続する方法、パソコンをFAXの代わりに使う方法などを説明しています。
 - ・インターネットとは
 - ・インターネットを体験する
 - ・ホームページを見る
 - ・外出先での通信
 - ・パソコン通信
 - ・FAXを使う



- 『活用ガイド ハードウェア編』
このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。
 - ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
 - ・周辺機器の接続と利用方法
 - ・システム設定について
- 『活用ガイド ソフトウェア編』
アプリケーションの利用方法や再セットアップの方法について説明しています。
VersaProモデルでは、本書にさまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。
 - ・アプリケーションソフトの利用方法
 - ・Windows NT4.0を利用する場合の設定
 - ・再セットアップの方法



- 『困ったときのQ&A』（LaVieのみ）
さまざまなトラブルへの対処方法をQ&A形式で説明したマニュアルです。
 - ・トラブル解決Q&A



はじめに

このマニュアルは、パソコンにインストールされているアプリケーションや、添付されているアプリケーションを、削除/追加する方法について説明しています。

また、パソコンにインストールされているソフトウェアの状態を復旧するときの再セットアップの方法についても説明しています。

1998年10月 初版

対象機種

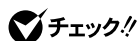
(Windows 98インストールモデル)

LaVie NX :LB26C/50A、LT23D/54C、LT23D/54D、LW23D/53C、LW23D/53D、LW23D/52C、
LW23D/52D、LW23C/52C、LW23C/52D、LW23C/5DC、LW23C/5DD

808-875488-198-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

ユーザーパスワード

「ユーザパスワード」または「ユーザーパスワード」を指します。

スーパーバイザー
パスワード

「スーパーバイザパスワード」または「スーパーバイザーパスワード」を指します。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

CD-ROMドライブ搭載
モデル

CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。

FAXモデム内蔵モデル

FAXモデムを内蔵または、モデムカードをPCカードスロットに実装しているモデルのことです。

一太郎モデル

一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、FullBand1.2Uがあらかじめインストールされているモデルのことです。

Wordモデル

Excel、Word、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。

【 】

【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」

「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記

正式名称

Windows、
Windows 98

Microsoft® Windows® 98 operating system日本語版

Windows NT 4.0

Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System
Version 4.0

インターネット
エクスプローラ

Microsoft® Internet Explorer 4.0

一太郎9パック	一太郎9パック(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、Fullband1.2U with ATOK12)
Excel 97、Word 98、Outlook 98	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®
駅すばあと	駅すばあと for Windows® 95
筆ぐるめ	筆ぐるめVersion6.0 for Windows®
NIFTY MANAGER	NIFTY MANAGER for Windows Version 4.70
AOL	AOLで簡単インターネット
Angel Line	Angel Line for Windows
Acrobat Reader 3.0J	Adobe® Acrobat™ Reader 3.0J

◆このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・本機のイラストや記載の画面は、モデルによって異なることがあります。
- ・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

[バッテリーパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリーパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリーパック実装時は、社団法人日本電子工業振興協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザ安全基準について

CD-ROMドライブ搭載モデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブが搭載されています。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたので、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておられません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98は本機でのみご利用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(Intellisync、モバイルメールを除く。詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

「一太郎」、「花子」、「FullBand」、「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。「一太郎9パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9パック」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

ニフティサーブ、NIFTY MANAGERは、ニフティ(株)の登録商標です。

アメリカ・オンラインおよびAOLは、AOLの登録商標です。

「Angel Line」および「エンジェルライン」は、NTTの登録商標です。

VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

Puma Technology、Puma Technologyロゴ、DSX Technology、DSX Technologyロゴ、IntellisyncおよびIntellisyncロゴは、いくつかの法域で登録することができるPuma Technology, Inc.の商標です。

MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Microcomputer Productsの登録商標です。

MNPは、Microcom, Inc.の登録商標です。

PS/2はIBM社が所有している商標です。

「BIGLOBEインターネット接続ツール」、「BIGLOBEかんたん設定ナビ」、「BIGLOBEサインアップナビ」、「BIGLOBEインターネット無料体験」は、日本電気株式会社の商標です。

AutoCrypt、Emergency Access、RC4ならびにGenuine RSA Encryption and Design、Interlocking Key Designのロゴマークは、米国Security Dynamics社の子会社である米国RSA Data Security社の商標または登録商標です。RSA SecurPCおよびSecurityDynamicsは米国Security Dynamics社の商標または登録商標です。

Adobe、AcrobatおよびAcrobatロゴはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

■輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

添付アプリケーションの削除と追加 1

添付アプリケーションの紹介 2

このPARTの構成について 4

アプリケーションの削除と追加 5

削除について 5

追加について 7

一太郎9パック(一太郎モデルのみ) 9

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98(Wordモデルのみ) 13

モバイルメール(LT23D、LB26Cのみ) 18

BIGLOBEインターネット接続ツール 21

BIGLOBEインターネット無料体験 23

インターネットアクセスマネージャ 25

ジェットサーファー 28

翻訳アダプタII CROSSROAD 30

AOL 33

ニフティサーブでインターネット 35

FAX-NX 40

Intellisync 42

Angel Line 48

NEC Soft MPEG1.0 50

プレーヤ-NX 53

Acrobat Reader 3.0J 56

CyberTrio-NX 58

CyberWarner-NX 62

ログファイルについて 64

VirusScan 66

英語モードフォントを利用する 70

駅すばあと 72

筆ぐるめ	75
パソコン用語集(一太郎モデル／Wordモデルのみ)	78
再セットアップするには	81
再セットアップとは	82
こんなときは再セットアップが必要です	82
再セットアップの種類	82
再セットアップ時の注意	83
再セットアップの準備をする	84
1. 必要なものを揃える	84
2. ハードディスクのデータのバックアップをとる	85
3. パソコンの設定を控える	85
4. パソコン本体の準備をする	86
標準再セットアップ	88
カスタム再セットアップ	92
1. 現在のハードディスク領域を削除する	92
2. ハードディスクに新しい領域を作成する	98
3. ドライブを初期化する	103
4. システムを再セットアップする	105
Cドライブのみの再セットアップ	107
Windows 98の設定をする	110
Wordモデルの再セットアップ	112
一太郎モデルの再セットアップ	119
1. 一太郎9パックをセットアップする	119
2. ショートカットやATOKパレットを削除する	120
パソコンを使う準備	123
FAT32ファイルシステムの利用	124
FAT32の設定方法	125

PART

3

他のOSを利用する 127

Windows NT 4.0を使う 128

Windows NT 4.0を使用する際の注意 128

1. Windows NT 4.0のセットアップ 129

2. 内蔵アクセラレータの利用 131

3. 内蔵サウンドの利用 133

4. NXパッドの拡張 134

5. 内蔵FAXモデムのセットアップ (FAXモデム内蔵モデルのみ) .. 135

6. FAXモデムカードのセットアップ (LT23Dのみ) 136

7. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ 139

8. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用 .. 140

PART

4

付録 141

Windows 98でMS-DOSモードを利用する 142

MS-DOSモードを利用する 142

CD-ROMドライバ (内蔵CD-ROMドライブ) 143

新しいMS-DOS設定を指定する場合 144

コンピュータウイルス対策 147

索引 151

添付アプリケーションの 削除と追加

本機に添付のアプリケーションを使うとどんなことができるか、また、それらを本機から削除したり、追加したりする方法を説明しています。

このPARTの内容

添付アプリケーションの紹介
アプリケーションの削除と追加

一太郎9パック(一太郎モデルのみ)

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98
(Wordモデルのみ)

モバイルメール(LT23D、LB26Cのみ)

BIGLOBEインターネット接続ツール

BIGLOBEインターネット無料体験

インターネットアクセスマネージャ

ジェットサーファ

翻訳アダプタII CROSSROAD

AOL

ニフティサブでインターネット

FAX-NX

Intellisync

Angel Line

NEC Soft MPEG1.0

プレーヤ-NX

Acrobat Reader 3.0J

CyberTrio-NX

CyberWarner-NX

VirusScan

英語モードフォントを利用する

駅すばあと

筆ぐるめ

パソコン用語集(一太郎モデル/Wordモデルのみ)

添付アプリケーションの紹介

本機では、次のようなアプリケーションを使用することができます。

次のアプリケーションが、ハードディスクにあらかじめインストールされています。

- ※1 一太郎モデルのみ
- ※2 Wordモデルのみ
- ※3 一太郎モデル／Wordモデルのみ
- ※4 アプリケーションCD-ROMで添付
- ※5 LT23D、LB26Cのみ

アプリケーション名	概要
一太郎9 ^{※1} Word 98 ^{※2}	ワープロを使う HTMLを作成する
三四郎8 ^{※1} Excel 97 ^{※2}	表計算をする
花子9 ^{※1}	図形を作成する
FullBand ^{※1} Outlook 98 ^{※2}	メール、スケジュール、文書などを管理する
BIGLOBEインターネット接続ツール	BIGLOBEに入会する 接続情報を設定する
インターネットエクスプローラ Outlook Express BIGLOBEインターネット無料体験 インターネットアクセスマネージャ	インターネットを利用する インターネットの情報を管理する 電子メールを送受信する
ジェットサーファー	ホームページのリンク先へ直接アクセスできるようにする
翻訳アダプタII CROSSROAD	英日、日英間の翻訳をする
AOLで簡単インターネット	AOLを利用する
ニフティサーブでインターネット	NIFTY SERVEを利用する
FAX-NX	FAXを送受信する
モバイルメール ^{※5}	電子メールを送受信する
Intellisync	赤外線／シリアルケーブル接続でファイルをシンク(同期)させる
Angel Line	パソコンで電話番号検索サービスを利用する
NEC Soft MPEG1.0	MPEG ファイルを再生する
プレーヤ-NX	オーディオCD、ビデオCDなどを再生する
Acrobat Reader 3.0J	PDFファイルを表示する

CyberTrio-NX	利用のレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定する
CyberWarner-NX	OSが必要とするファイルを保護する
VirusScan	コンピュータウィルスを検出して除去する
英語モードフォント※ ⁴	海外製アプリケーションの文字表示を正しくする
駅すばあと※ ³	駅間の距離や金額などを確認する
筆ぐるめ※ ³	ハガキの宛名書き、本文書きをする 「F-DIポストカードプリント」用にデータを変更する
パソコン用語集※ ³ ※ ⁴	パソコン用語の意味を調べる

このPARTの構成について

アプリケーションの起動、追加、削除の仕方について、アプリケーションごとに説明しています。アプリケーションによっては、ヘルプに詳しい説明がのっているものもあります。

- アプリケーションの起動方法
- アプリケーションの削除方法
- アプリケーションの追加方法

次のアプリケーションについては、使い方も説明しています。

- Intellisync

 **チェック!!** アプリケーションがプリインストールされていないモデルでは、添付の「アプリケーションCD-ROM」から本機にインストールする必要があります。その場合は、はじめにアプリケーションの追加方法をお読みください。

◎ ヘルプについて

各アプリケーションにはオンラインヘルプがついています。

操作方法や機能などがわからないときにご覧ください。

ヘルプを起動するには、各アプリケーションのメニューバーの「ヘルプ」をクリックします。

アプリケーションの削除と追加

アプリケーションの削除と追加に関する注意事項を説明します。

削除について

本機に標準でインストールされているアプリケーションの削除の手順を説明します。

-  **チェック!!**
- ・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
 - ・CD-ROMドライブが搭載されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、別売のCD-ROMドライブまたはCD-ROMベースが必要になります。
 - ・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
 - ・ハードディスクの空き容量を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き容量を増やすことができます。
 - ・一部のアプリケーションでは、「削除の準備」を行ってから削除します。
 - ・アイコンを削除する場合は、「アイコン削除の準備」(→p.6)を行ってから削除します。
 - ・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

◎ 削除の準備

コントロールパネルを使って削除する場合は、次の手順を行ってください。CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**

「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

- 2 「インストールと削除」タブを選択する**



チェック!!

- ・削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、スタートメニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、本機を操作する上では支障ありません。
- ・アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。
- ・アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。
- ・「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「追加と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。
- ・追加や削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

◎ アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 2 「表示」メニュー→「フォルダオプション」をクリックする
- 3 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルの表示」で「すべてのファイルを表示する」を選択する
- 4 「OK」ボタンをクリックする

この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

追加について

次のような場合に、本機にアプリケーションを追加する方法を説明しています。

- ・添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを本機に追加する場合
- ・本機に標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合



チェック!!

- ・CD-ROMドライブが搭載されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、別売のCD-ROMドライブまたはCD-ROMベースが必要です。
- ・CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。
- ・一部のアプリケーションでは、次の「プロダクトの選択」を行ってから再追加します。

◎ プロダクトの選択

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用して追加する場合は、次の手順を行ってください。

各アプリケーションのCD-ROMを使用する場合は必要ありません。

- 1** CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする
- 3** 「インストールと削除」タブを選択する
- 4** 「インストール」ボタンをクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動する
- 5** 「次へ」をクリックする

**6 「インストールプログラムの実行」の「インストールプログラムの
コマンドライン」に「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」
と入力する**

例 CD-ROMドライブ名がQの場合
 Q:¥NSETUP.EXE

7 「完了」をクリックする
「プロダクトの選択」が表示されます。

一太郎9パック（一太郎モデルのみ）

一太郎9パックには、「一太郎9」、「花子9」、「三四郎8」、「FullBand」が入っています。「一太郎9」はワープロ、「花子9」は図形作成ソフト、「三四郎8」は表計算ソフトです。「FullBand」は、メール、スケジュール、文書などを一元的に管理するツールです。

本機にセットアップされている「一太郎9パック」は、「標準」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。ご購入時の状態で使用できる機能については、一太郎9パックの添付マニュアル「セットアップ」の「各セットアップ方法でコピーされる機能について」をご覧ください。

「標準」以外の機能を使用する場合は、添付の「一太郎9パック CD-ROM」から追加してください。

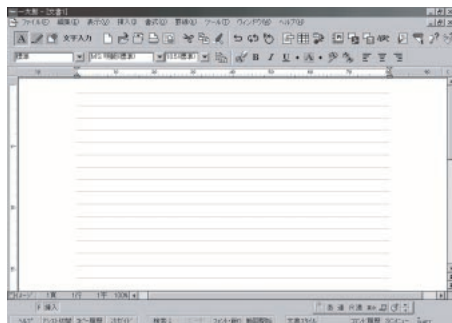
追加の方法については、一太郎9パックの添付マニュアル「セットアップ」の「アプリケーション追加・削除を利用します」をご覧ください。

◎ 起動

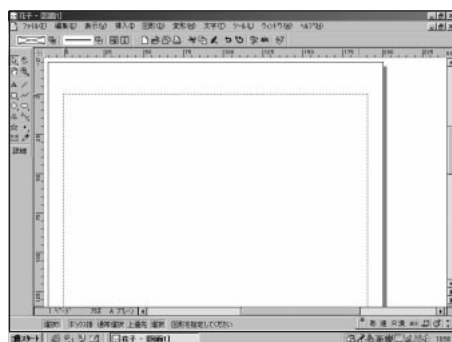
1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「JUSTSYSTEMアプリケーション」で「一太郎9」、または「花子9」、または「三四郎8」、または「FullBand」をクリックする

初回起動時には、使用許諾画面が表示されます。使い方など詳しくは、添付の一太郎9パックのマニュアルをご覧ください。

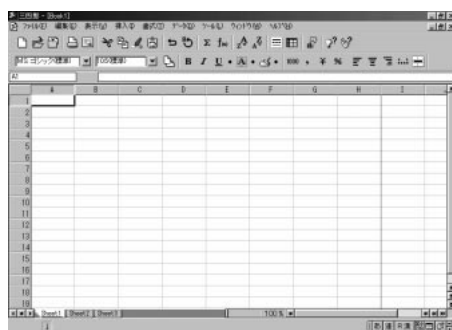
一太郎9



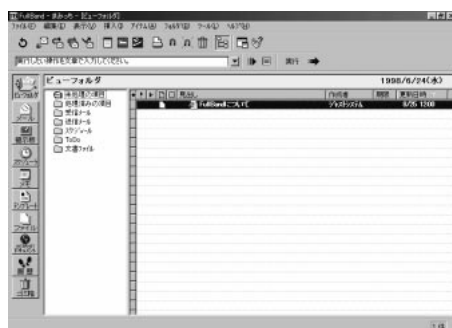
花子9



三四郎8



FullBand



◎ 削除

一太郎9が常駐している場合は、必ず常駐を解除してから削除してください。
常駐解除の方法は添付の一太郎9パックのマニュアルをご覧ください。

- 1** 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2** 「インストールと削除」の一覧から「JUSTSYSTEMアプリケーションの追加と削除」をクリックし、「追加と削除」をクリックする
- 3** 「一太郎9パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 「一太郎9パックの追加と削除」で「ファイルの追加・削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「一太郎9パックのファイルを追加・削除します」で「ファイルの削除」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「削除するファイルを選択します」と表示されたら「全て選択」をクリックし、「次へ」ボタンをクリックする
削除するアプリケーションや機能を選んで削除することもできます。
- 7** 「ジャストシステム共通ファイル(32bit)も削除しますか?」と表示されたら「削除しない」をクリックする
「ATOK12をWindowsや他のアプリケーションが使用しているためコンピュータを再起動するときに削除されます。」と表示されることがあります。そのときは、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 8** 「フォルダ名を確認してください1/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 9** 「フォルダ名を確認してください2/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 10** 「フォルダ名を確認してください3/3」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「ファイルの削除を開始します」で「削除開始」をクリックする
削除が始まります。

12 「一太郎9パックのセットアップ終了」が表示されたら「再起動」をクリックする

◎ 追加

一太郎9パックの追加については、PART2の「一太郎モデルの再セットアップ」(→p.119)をご覧ください。

Excel 97 & Word 98 & Outlook 98

(Wordモデルのみ)

Wordモデルには、次のソフトウェアがインストールされています。

- ・ Excel 97(表計算ソフト)
- ・ Word 98(ワープロソフト)
- ・ Outlook 98(メール／スケジュール管理ソフト)
- ・ Draw 98(作図ソフト)

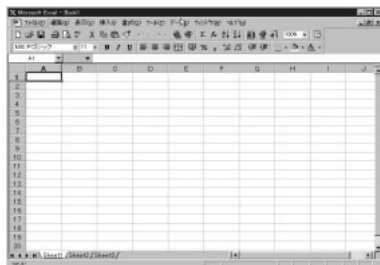
本機にセットアップされている「Excel 97」、「Word 98」、「Outlook 98」は、「標準セットアップ」でセットアップされており、ご購入時の状態では、すべての機能が使用できるわけではありません。

「Excel 97」、「Word 98」、「Outlook 98」の「標準セットアップ」以外の機能を使用する場合は、添付の「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMから追加してください。追加の方法については、「Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」に添付の「お使いになる前に」をご覧ください。

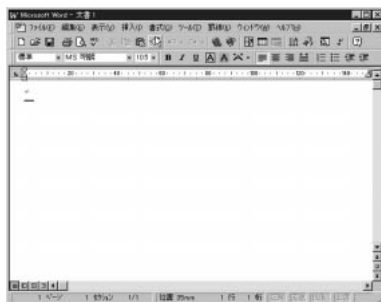
✓チェック!! 本機には、MS-IME98が標準で登録されています。「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMに入っているMS-IME98はインストールしないでください。

◎ 起動

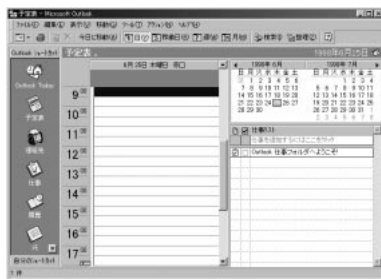
1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Microsoft Excel」、または「Microsoft Word」、または「Microsoft Outlook」をクリックする
Excel 97



Word 98



Outlook 98



Draw 98は、Excel 97またはWord 98のメニューバーから「挿入」→「図」をクリックすると起動します。

◎ 削除

✓チェック!! Draw 98、Word 98、Excel 97の削除には「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMが必要です。

◆ Outlook 98の削除

✓チェック!! 再追加したOutlook 98、Word 98、Excel 97をすべて削除するときは、追加した順と逆順に削除を行ってください。
Excel 97、Word 98、Outlook 98の順に再追加したときは、Outlook 98、Word 98、Excel 97の順に削除します。

1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「Microsoft Outlook 98」をクリックして「追加と削除」をクリックする

3 「メンテナンス ウィザード」が表示されたら「Outlook 98の削除」ボタンをクリックする

4 「Microsoft Outlook 98コンポーネントをアンインストールします。続行しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
Outlook 98の削除が始まります。

 **チェック!!** 共有ファイルの削除メッセージが表示された場合は、「すべて残す」を選択してください。

5 アンインストール完了のメッセージが表示されたら「はい」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動のメッセージが表示された場合は、再起動を選択してください。本機が再起動したら、削除の作業を続けてください。

◆ Draw 98の削除

1 CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする

2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」が表示されたら「Draw 98のセットアップ」をクリックする

3 「Microsoft Draw 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする

4 「Microsoft Draw 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有コンポーネントの削除」が表示された場合は、「削除しない」をクリックしてください。

5 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、実行中の他のアプリケーションを終了し、「Windowsの再起動」をクリックしてWindowsを再起動してください。

◆ Word 98、Excel 97の削除

ここでは、Word 98で説明しています。Excel 97を削除するときは、本文中の「Word 98」を「Excel 97」に置き換えてお読みください。

- 1** CD-ROMドライブに「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」CD-ROMをセットする。
- 2** 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」が表示されたら「Word 98のセットアップ」をクリックする
- 3** 「Microsoft Word 98セットアップ」で「すべて削除」をクリックする
- 4** 「Microsoft Word 98を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

 **チェック!!** 「共有コンポーネントの削除」が表示されたら「削除しない」をクリックしてください。

- 5** 「Microsoft Word 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 再起動のメッセージが表示された場合は、「Windowsの再起動」をクリックしてください。本機が再起動したら、削除の作業を続けてください。

◆ アイコンの削除

デスクトップに「Microsoft Word」または「Microsoft Excel」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1** 「Microsoft Word」または「Microsoft Excel」アイコンを右クリックする
- 2** 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3** 「ファイルの削除の確認」で「はい」ボタンをクリックする

◎ 追加

◆ Excel 97の追加

Excel 97の追加については、PART2の「Excel 97を再セットアップする」(→ p.112)をご覧ください。

◆ Word 98の追加

Word 98の追加については、PART2の「Word 98を再セットアップする」(→ p.114)をご覧ください。

◆ Draw 98の追加

Draw 98の追加については、PART2の「Draw 98を再セットアップする」(→ p.116)をご覧ください。

◆ Outlook 98の追加

Outlook 98の追加については、PART2の「Outlook 98を再セットアップする」(→ p.116)をご覧ください。

モバイルメール(LT23D、LB26Cのみ)

モバイルメールは、パソコンを携帯して外出先で簡単に電子メールのやりとりができるアプリケーションです。利用環境の変化に応じて、あらかじめ設定しておいた通信設定を簡単に切り替えることができるほか、オフィスや自宅にあるもう一台のパソコン上のモバイルメールのメールデータと同期をとることができます。モバイルメールについては、本機に添付の『モバイルメール ファーストステップガイド』もあわせてご覧ください。

✓チェック!! ・モバイルメールの同期を行う場合は、同期を行う2台のパソコン上でIntellisyncの「ファイル転送」「シンクロナイズ」「接続設定マネージャ」を終了させてからモバイルメールを起動してください。

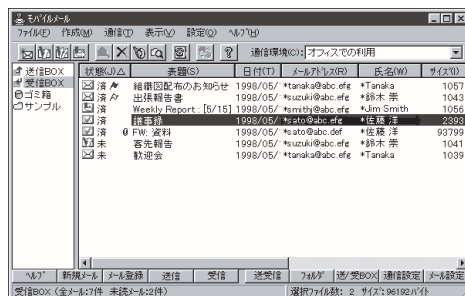
・モバイルメールは、Windows NT 4.0では利用できません。

モバイルメールでは、「モバイルメール」のほかにメールアドレスなどの個人情報登録できる「モバイルアドレス帳」、利用環境の変化に応じて設定を切り替えることにより、インターネットエクスプローラなどが使用するダイヤルアップネットワークと連動させることができる「通信設定」なども利用できます。

◎ 起動

◆ モバイルメールの起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「モバイルメール」の「モバイルメール」をクリックする



◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1~2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「モバイルメール」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
メールフォルダや通信設定、アドレスデータは削除されません。フォルダに残ったファイルを削除する場合は、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で「<ドライブ名>:\¥MM Folder」にあるファイルを削除してください。

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「モバイルメール」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「ユーザの情報」で「名前」、「会社名」を全角13文字(半角26文字)で入力し、「次へ」ボタンをクリックする
名前は必ず入力してください。「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください。
- 5 「登録確認」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 6 「コンポーネントの選択」でインストールするアプリケーションを選択する

 **チェック!!** ・モバイルメールをインストールせずにモバイルボイスメールをインストールした場合、モバイルボイスメールの「メール登録」機能は使用できません。

- ・「コンポーネントの選択」で、既にインストールされているアプリケーションは ☒ (オン) になり、インストールされていないものは ☐ (オフ) になります。ただし、はじめてインストールする場合は、すべてのアプリケーションが ☒ (オン) になります。アプリケーションを追加インストールする場合は、追加するアプリケーションを ☒ (オン) にしてください。なお、既にインストールされているアプリケーションは上書きインストールされます。

7 インストール先ディレクトリを指定して「次へ」ボタンをクリックする

8 「メールフォルダ選択」でメールフォルダを作成するドライブを選択して「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** ・メールフォルダは、選択されたドライブのルートディレクトリに“MM Folder”というフォルダ名で作成されます。なお、フォルダ名を変更することはできません。

- ・既にメールフォルダが作成されている場合(追加インストール時など)、そのドライブ名が表示されます。別のドライブを設定した場合、既に作成されているメールフォルダは参照できなくなります。

9 「設定確認」と表示されたら設定内容を確認後「次へ」ボタンをクリックする

インストールが始まります。

10 「デスクトップにショートカットを登録しますか」と表示されるので、ショートカットを登録する場合は「はい」ボタンを、登録しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする

「コンポーネントの選択」ですべてのアプリケーションを選択した場合は、次のショートカットが登録されます。

- ・モバイルメール
- ・モバイルボイスメール
- ・モバイルアドレス帳
- ・モバイルポケベル
- ・通信設定

11 「Windowsの再起動」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「OK」ボタンをクリックする

Windowsが再起動します。

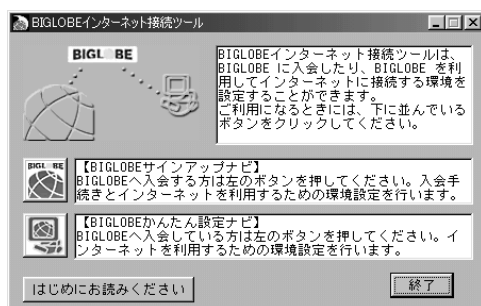
BIGLOBEインターネット接続ツール

BIGLOBEへの入会手続きをするためのアプリケーション「BIGLOBEサインアップナビ」と、BIGLOBEへ入会済の方が通信設定を簡単に設定/変更できるアプリケーション「BIGLOBEかんたん設定ナビ」が利用できます。

✓ **チェック!!** 「スタート」メニューの「オンラインサービス」にアイコンが登録されていますが、プロバイダ入会時には、デスクトップまたは「スタート」メニューにグループとして登録されている「BIGLOBEツール」内のプログラムを使用して、ご入会することをお勧めいたします。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「BIGLOBEツール」の「インターネット接続ツール」をクリックする
または、デスクトップにある「インターネットするならBIGLOBE」アイコンをダブルクリックする



◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「BIGLOBEインターネット接続ツール」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「アンインストール BIGLOBEインターネット接続ツール」のダイアログボックスが表示されたら、「自動アンインストール」をチェックし「次へ」ボタンをクリックする

- 4** 「アンインストール開始」と表示されたら「アンインストール」ボタンをクリックする
削除が始まります。

◎ 追加

- 1** 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「BIGLOBEインターネット接続ツール」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「注意 このセットアッププログラムを実行する前に、起動中の他のすべてのアプリケーションを終了させてください」で「OK」ボタンをクリックする
- 4** 「BIGLOBEインターネット接続ツール インストール説明書」が表示されたらよくおよみのうえ「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「インストール先ディレクトリの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 6** 「インストールの準備が完了しました」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 7** 「インストールが完了しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする

BIGLOBEインターネット無料体験

プロバイダと契約していなくても、一定時間インターネットを楽しむことができる体験ソフトです。

◎ 起動

- ## 1 デスクトップの「インターネット無料体験」のアイコンをクリックする



参照 インターネット無料体験の操作の詳細について→『インターネットガイド』PART2の「インターネットに接続する」

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1~2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「インターネット無料体験」をクリックして、「追加と削除」をクリックする
- 3 「インターネット無料体験」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除がはじまります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は「いいえ」ボタンをクリックする

- 5 「コンピュータからプログラムを削除」「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「インターネット無料体験」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5 「セットアップが完了しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする

インターネットアクセスマネージャ

インターネットを効率よく利用するためのアプリケーションです。オートパイロット(自動巡回)やオートダイヤル(自動接続/切断)、接続時間や料金の管理を行うことができます。

◎ 起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」の「いま、いくら?」をクリックする

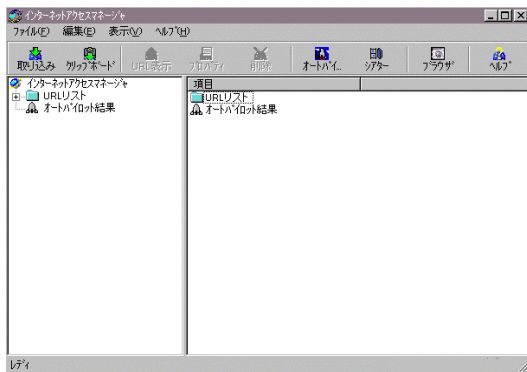
2 画面に従って設定を行う

参照 インターネットアクセスマネージャについて→『インターネットガイド』PART4の「インターネットアクセスマネージャを使う」



この画面では「インターネット接続」、「リアルタイム料金計算」、「接続管理/料金管理」が利用できます。

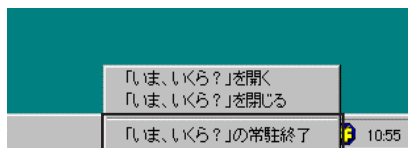
3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「インターネットアクセスマネージャ」の「インターネットアクセスマネージャ」をクリックする



この画面では「オートパイロット機能」、「オフラインホームページシッター」、「オンラインホームページシッター」、「URL登録」が利用できます。詳しくはインターネットアクセスマネージャヘルプをご覧ください。

◎ 削除

- 1 タスクトレイの  マークのアイコンを右クリックしてメニューから「「いま、いくら?」の常駐終了」を選択する



- 2 「削除の準備」(→p.5)の手順1~2を行う
- 3 「インストールと削除」の一覧から「インターネットアクセスマネージャVer3.0」をクリックして、「追加と削除」をクリックする
- 4 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除がはじまります。
- 5 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
- 6 削除が終了し、「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

✓ **チェック!!** 上の手順でアンインストールを行うと、インストールしたファイルのみが削除されます。インターネットアクセスマネージャを使って作成されたオートパイロット結果などの情報ファイルは削除されません。これらのファイルを削除する場合は、Windowsの「エクスプローラ」でインターネットアクセスマネージャがインストールされているフォルダごと削除してください(「C:¥Program Files¥IAM」のフォルダを削除してください)。

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「インターネットアクセスマネージャ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」と表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

5 「接続方法の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

6 「バージョンの競合」という画面が表示された場合は、「はい」ボタンをクリックする

7 「README ファイルを読みますか?」と表示されたら、README ファイルを読む場合は「はい」ボタンを、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする

「はい」を選択した場合、読み終わったら、右上のをクリックしてください。

8 「セットアップの完了」と表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して「完了」ボタンをクリックする

コンピュータが再起動してインターネットアクセスマネージャを利用するための設定画面が表示されます。画面に従って設定を行ってください。

参照

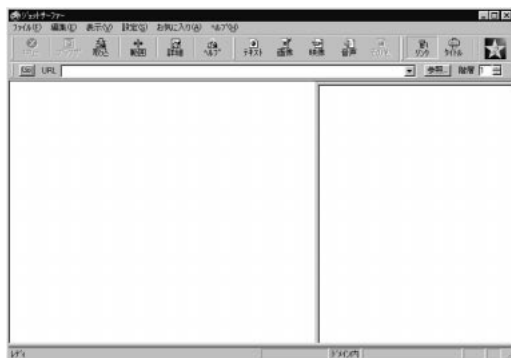
インターネットアクセスマネージャについて→「インターネットガイド」PART4
の「インターネットアクセスマネージャを使う」

ジェットサーファー

ホームページでリンクの情報をまとめ、簡単にリンク先へ直接アクセスすることができます。詳しい使いかたは『インターネットガイド』PART4の「ジェットサーファーを使う」をご覧ください。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「ジェットサーファー」で「ジェットサーファー」をクリックする



モデルにより画面が多少異なります。

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「ジェットサーファーVer1.5」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする

5 削除が終了し、「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

上記の手順でアンインストールを行うと、インストールしたファイルのみが削除されます。ジェットサーファーを使って作成された「お気に入り」などの情報やファイルは削除されません。これらの情報やファイルを削除する場合は、「エクスプローラ」で「C:¥ProgramFiles¥JetSurfer」フォルダを削除してください。

「スタート」ボタン→「プログラム」に「ジェットサーファー」のアイコンが残った場合は、次のファイルを削除してください。

C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥ジェットサーファー

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「ジェットサーファー」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「READMEファイルを読みますか？」と表示されたら、READMEファイルを読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする
「はい」を選択した場合、読み終えたら右上の  をクリックしてください。
- 6 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

翻訳アダプタ II CROSSROAD

英語の文章を日本語に、日本語の文章を英語に翻訳します。インターネットで英語のホームページを見るときなどに利用できます。

参照

翻訳アダプタII CROSSROADについて詳しくは→『インターネットガイド』PART4の「翻訳アダプタII CROSSROAD」を使う」

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「翻訳アダプタII CROSSROAD」で「翻訳アダプタII CROSSROAD」をクリックする



◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「翻訳アダプタII CROSSROAD」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「翻訳アダプタII CROSSROADとそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「共有コンポーネントの削除」画面が表示された場合は、「全て残す」をクリックする
- 5 「削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

◆ アイコンの削除

デスクトップに「翻訳アダプタII CROSSROAD」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

- 1 アイコンを右クリックする
- 2 表示されたメニューで「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」の一覧から「翻訳アダプタII CROSSROAD」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「翻訳アダプタII CROSSROAD セットアップ」で「OK」ボタンをクリックする
- 4 「はじめに」で「標準セットアップ」が選択されていることを確認して、「OK」ボタンをクリックする
- 5 「ユーザー情報の入力」で、シリアルNoに「C103B29100」パスワードに「LGPPRF00」と入力して「インストール」をクリックする

✓ **チェック!!** シリアルNo.とパスワードは、すべて半角大文字で入力してください。

- 6 「翻訳アダプタII CROSSROAD セットアップ」でパソコンの絵のついた大きなボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 7 「翻訳アダプタII CROSSROADのセットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 8 次の「アイコンの追加」の手順で、「翻訳アダプタII CROSSROAD」アイコンをデスクトップにコピーする

◆ アイコンの追加

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 2** エクスプローラのウィンドウでC:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥翻訳アダプタII CROSSROADにある「翻訳アダプタII CROSSROAD」アイコンを右クリックする
- 3** 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4** デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」をクリックする
「翻訳アダプタII CROSSROAD」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

AOL

アメリカのパソコン通信サービス「AOL(アメリカ・オンライン)」を利用するためのアプリケーションです。

AOLはパソコン通信だけでなく、インターネットも利用できます。

- ✓ **チェック!!** 「スタート」メニューの「オンラインサービス」にアイコンが登録されていますが、プロバイダ入会時には、デスクトップまたは「スタート」メニューにグループとして登録されている「AOL」内のプログラムを使用して、ご入会することをお勧めいたします。

◎ 起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「AOL」の「AOLで簡単インターネット」をクリックする

または、デスクトップにある「AOLで簡単インターネット」アイコンをダブルクリックする

AOLについては、本機に添付の『AOLハンドブック』もあわせてご覧ください。

- ✓ **チェック!!** 登録後1カ月の間、最初の100時間はすべてのサービスを無料で利用できます。フリーアクセス時間(100時間)を越えたり、フリーアクセス期間(登録後1ヶ月)を越え、課金が始まりますのでご注意ください。



◎ 削除

1 「削除の準備」(→p.5)の手順1~2を行う

- 2** 「インストールと削除」の一覧から「AOL」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3** 「AOL for Windowsアンインストーラー」で「OK」ボタンをクリックする
AOLが複数インストールされている場合は「標準モード」のチェックマークを外してください。
- 4** 「アンインストールするAOLのディレクトリ」で「OK」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 5** 「AOLの削除は正常に終了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6** 再起動を促すメッセージが表示された場合は、「再起動」をクリックする

◎ 追加

- 1** 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「AOLで簡単インターネット」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「Welcome」の画面で「開始」ボタンをクリックする
モデムの検索が行われます。
- 4** 「AOLセットアッププログラムへようこそ」が表示されたら「インストール」ボタンをクリックする
- 5** 「AOLのショートカットを作成します」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
スタートメニューの最上段に登録する場合はチェックボックスをチェックし、登録しない場合はチェックを外してください。
- 6** 「セットアップ終了」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

ニフティサーブでインターネット

パソコン通信サービス「ニフティサーブ」に接続し、さまざまなサービスを利用できます。

- ✓ **チェック!!**
- ・NIFTY MANAGERを使用する場合は、ニフティサーブでインターネットよりインストールしてください。
 - ・NIFTY MANAGERを使用するときは、「モデムのプロパティ」、「ダイヤルのプロパティ」が正しく設定されていることを確認してください。設定について詳しくは『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」または「FAXモデムカード」、お使いになるモデムのマニュアルをご覧ください。
 - ・「メール」→「アップロード」で大きなファイルを送信すると、接続しているアクセスポイントによっては【リトライオーバー(-8)】となり、回線が切断されることがあります。このような場合は、アクセスポイントを変更するか、NIFTY MANAGERのメニューバーの「オプション」→「通信設定」→「アクセスポイント設定」で所在を選んで「変更」をクリックし、「モデムのプロパティ」をクリックして「最高速度」の値を下げて使用してください。
 - ・「スタート」メニューの「オンラインサービス」にアイコンが登録されていますが、プロバイダ入会時には、デスクトップまたは「スタート」メニューにグループとして登録されている「ニフティサーブでインターネット」内のプログラムを使用して、ご入会することをお勧めいたします。

参照 「ニフティサーブ」への入会手続きについて→『ニフティサーブ 入会シート』

◎ 起動

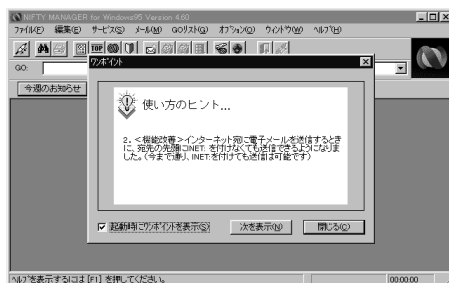
◆ 「ニフティサーブでインターネット」の起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「ニフティサーブ」の「ニフティサーブでインターネット」をクリックする
または、デスクトップにある「ニフティサーブでインターネット」アイコンをダブルクリックする



◆「NIFTY MANAGER」の起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「NIFTY MANAGER」の「NIFTY MANAGER」をクリックする



◎ 削除

◆NIFTY MANAGERの削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「NIFTY MANAGER for Windows Ver4.70」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは、「すべていいえ」を選んでください。

4 「NIFTY MANAGERを再インストールした場合のために登録情報を保存しておきますか?」と表示されたら、保存する場合は「はい」ボタン、保存しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
画面のメッセージを確認しながら削除を行います。

5 「コンピュータからプログラムを削除」でアンインストールの完了を確認して、「OK」ボタンをクリックする

◆「ニフティサーブでインターネット」の削除

1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「ニフティサーブでインターネット」をクリックして「追加と削除」をクリックする

3 「ニフティサーブでインターネット」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

4 「コンピュータからプログラムを削除」でアンインストールの完了を確認し、「OK」ボタンをクリックする

◎ 追加

◆「ニフティサーブでインターネット」の追加

1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う

2 「プロダクトの選択」で「ニフティサーブでインターネット」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする

4 「製品ライセンス契約」が表示されましたら、よくお読みのうえ同意する場合には「はい」ボタンをクリックする
「いいえ」ボタンをクリックすると「セットアップ中止」が表示されます。

- 5 「インストールの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 6 「デスクトップにニフティサーブでインターネット のショートカットを置きますか?」と表示されたら、置く場合は「はい」ボタン、置かない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
- 7 「READMEファイルを読みますか?」と表示されたら、読む場合は「はい」ボタンを、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする
- 8 「セットアップが完了しました」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする

◆ NIFTY MANAGERの追加

- 1 デスクトップの「ニフティサーブでインターネット」アイコンをダブルクリックする
デスクトップに「ニフティサーブでインターネット」アイコンがない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「ニフティサーブ」→「ニフティサーブでインターネット」をクリックする
- 2 「ニフティサーブでインターネット」が表示されしばらくすると「インターネットもニフティサーブで。できることいっぱい。楽しさいっぱい。」が表示されるので、「会員のかた」ボタンをクリックする
- 3 「もっと楽しく!もっと便利に!」が表示されたら、「ニフティマネージャーのインストール」ボタンをクリックする
- 4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 利用規約が表示されるので、よく読んでから、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする
「いいえ」ボタンをクリックすると、「セットアップの中止」が表示されません。
- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

7 「NIFTY MANAGER for Windows 3.1を…」と表示されたら「いいえ」ボタンをクリックする

以前にNIFTY MANAGERを削除したことがある場合は、「以前の情報を引き継ぎますか?」と表示されることがあります。以前の情報が必要な場合は「はい」ボタン、不要な場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。

インストールが始まります。

8 「デスクトップにNIFTY MANAGER for Windowsのショートカットを置きますか?」と表示されたら、デスクトップにショートカットを作成する場合は「はい」ボタンを、作成しない場合は「いいえ」ボタンをクリックする

しばらくすると「NIFTY MANAGERデータベースへアクセスするための環境を設定中です。」と表示されます。

9 「READMEファイルを読みますか?」と表示されたら、読む場合は「はい」を、読まない場合は「いいえ」をクリックする

READMEファイルはメモ帳で表示されます。READMEファイルを読み終わったらメモ帳を終了し、画面上のウィンドウを最小化して次の手順10のメッセージを表示させてください。

10 「セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「セットアップを完了するには、システムを再起動する必要があります。再起動しますか?」と表示されることがあります。表示されたときは、「はい」ボタンをクリックして再起動してください。



FAX-NX

本機をFAXとして使うためのアプリケーションです。

本機にインストールされているいろいろなアプリケーションで作成した送信原稿を送信し、相手先のFAXの用紙に出力することや、受信した内容を本機の画面で表示してすることができます。本機にプリンタが接続されていれば、受信した内容を印刷することもできます。

◎ 起動

「FAX-NX」を起動する前に、本機と電話回線が正しく接続されていることを確認してください。

参照 電話回線との接続 → 『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」または「FAXモデムカード」

チェック!! 「FAX-NX」は本機の内蔵FAXモデムボードおよびFAXモデムカード以外では動作しません。

「FAX-NX」は次の方法で起動します。

「スタート」→「プログラム」→「アプリケーション」→「FAX-NX(FAX)」

◎ 削除

1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う

2 「インストールの削除」タブのウィンドウの一覧から「FAX-NX」をクリックする

「FAX-NX」が反転表示されます。

3 「追加と削除」をクリックする

「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」のメッセージが表示されます。

4 「はい」をクリックする

アプリケーションの削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。終了すると「アンインストールが完了しました」と表示されます。

5 「OK」ボタンをクリックする

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「FAX-NX」をクリック(反転表示)して、「OK」ボタンをクリックする
「インストールを行う前に」ウィンドウが表示されます。
- 3 「次へ」ボタンをクリックする
「ユーザ情報の設定」ウィンドウが表示されます。
- 4 各種項目を入力して、「次へ」ボタンをクリックする
「情報の一覧」ウィンドウが表示されます。
- 5 入力した情報を確認して「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
インストールが終了すると、「再起動しますか?」ウィンドウが表示されます。
- 6 「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して「OK」ボタンをクリックする
Windows 98が再起動します。
これでインストールは完了です。

Portion of this program Copyright 1982-1996 Pervasive Software, Inc. All Rights Reserved.

Intellisync

ケーブル接続や赤外線接続を通して、パソコン間でファイルのやりとりを簡単に行うことができます。

✓ **チェック!!** 通信相手のパソコンとして、他のPC98-NXシリーズやPC-9800シリーズを使う場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使って、相手のパソコンにIntellisyncをインストールする必要があります。インストールの方法は、「追加」(→p.46)をご覧ください。

✓ **チェック!!** Intellisyncに添付のユーザーマニュアルをご覧になるには、Acrobat Reader 3.0Jが必要です。本機にAcrobat Reader 3.0Jをインストールしていない場合は、「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。

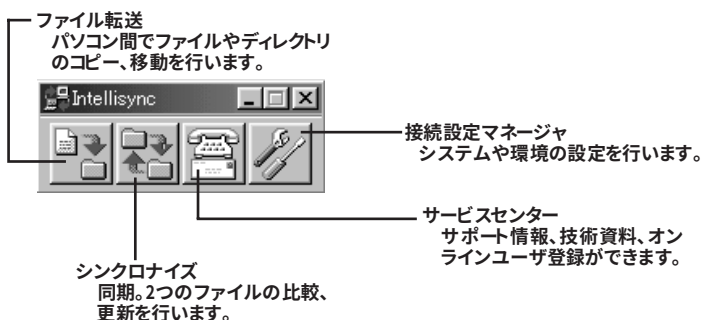
参照 Acrobat Reader 3.0Jのインストール方法→「Acrobat Reader 3.0J」(→p.56)

◎ 起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Intellisync」の「Intellisync エージェント」をクリックする

2 「はじめに-Intellisync」で「OK」ボタンをクリックする

「Intellisyncランチャー」が表示されます。



◎ ローカルシステムの設定

パソコン間でデータのやりとりをするには、はじめに各パソコンで接続システムの設定を行います。

1 Intellisyncランチャーを起動する

2 ランチャーの「接続設定マネージャ」をクリックする

 **チェック!!** 初回起動時には使用許諾画面が表示されます。

3 「ローカルデバイス」をクリックし、デバイスを選択する

デバイスの詳細は「接続設定」をご覧ください。

4 「プロパティ」をクリックする

5 「プロパティ」画面で「接続可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

◎ 接続設定

パソコン間を赤外線、シリアルポートで接続できます。

◎ 赤外線(IR)接続設定

本機に内蔵されている赤外線デバイスを使用する場合は、手順2から設定を行ってください。別売の赤外線デバイスを使うときは、次の手順で設定を行ってください。

1 COMポートに赤外線デバイスを接続する

詳細は各デバイス添付のマニュアルをご覧ください。

2 二つのシステムの赤外線ポート(IRポート)が向かい合うようにパソコンを設置する

 **参照** 設置時の注意→『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」

3 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

4 「赤外線デバイス」を右クリックする

5 「IRウィザード」をクリックする

6 現在のデバイスが表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

7 デバイスのリストから使用するデバイスを選ぶ

本機内蔵の赤外線デバイスを使うときは、お使いの機種によって選ぶ赤外線デバイスが異なります。LW23D、LW23C/52C、LW23C/52Dをお使いの場合は「NEC FIR port model 02」を、それ以外の機種をお使いの場合は「NEC FIR port model 01」を選んでください。別売の赤外線デバイスを使う場合で一覧にデバイス名がない場合は「Generic」を選んでください。

8 ポートのリストから赤外線デバイスが接続されているCOMポートを選び、「次へ」ボタンをクリックする

ポートが一つの場合、表示されません。

9 ボーレートの一覧が表示されたら、ボーレートを選び、「次へ」ボタンをクリックする

ボーレートが一つの場合、表示されません。

10 設定内容が表示されるので、確認して「完了」ボタンをクリックする

11 「IRセットアップウィザード」で「OK」ボタンをクリックする

◎ シリアルケーブル接続設定

使用するパソコン両方に同じ設定をします。

1 COMポート(シリアルポート)にシリアルケーブルを接続する ケーブルの長さは6m以下にしてください。

2 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする

3 シリアルケーブルの+をクリックする

4 COMポートが表示されるので、「COMポート」を選び、「プロパティ」をクリックする

5 「接続を可能にする」にチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

◎ 接続状態のチェック

接続状況をチェックします。接続がうまくいかないときに確認してください。

- 1 「接続設定マネージャ」を起動し、「ローカルデバイス」をクリックする
- 2 接続状態をチェックしたいデバイスの+をクリックする
表示されたマークで確認します。

マーク	マークの意味
	使用可能なポートがない
	接続設定が不可になっている
	他のパソコンと接続されてない(赤信号)
	接続中(黄信号)
	接続されている(青信号)

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Intellisync」をクリックし「追加と削除」をクリックする
- 3 「Intellisync とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックする
削除が始まります。

5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

◎ 追加

以下の操作を行う場合には、『活用ガイド ハードウェア編』PART1の「赤外線通信を行うまえに」を行ってください。

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う**
- 2 「プロダクトの選択」で「Intellisync」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする**
- 3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**
- 4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容を読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする**
- 5 「ユーザの情報」画面で「名前」「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする**
「会社名」を入力したくない(空白としたい)場合は、入力欄に全角スペースを入力してください。
- 6 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする**
- 7 「セットアップ方法」で「標準」が選択されていることを確認して「次へ」ボタンをクリックする**
- 8 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする**
- 9 「質問」画面の「スタートアップグループにIntellisyncを追加しますか?」で「いいえ」ボタンをクリックする**
- 10 「セットアップの完了」で「完了」ボタンをクリックする**
- 11 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「次へ」ボタンをクリックする**

12 「赤外線の設定-デバイスの選択」で「NEC FIR port model 01」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

LW23D、LW23C/52C、LW23C/52Dをお使いの場合は、「NEC FIR port model 02」を選んでください。

13 「赤外線セットアップ-ボーレート最大値を選択」で「4000000」を選び、「次へ」ボタンをクリックする

14 「赤外線の設定-現在のデバイス」で「完了」ボタンをクリックする

15 「セットアップの完了」で「完了」ボタンをクリックする

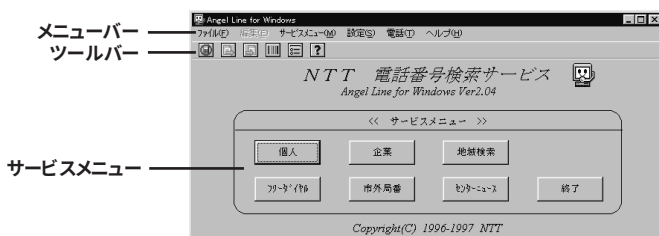
Angel Line

パソコンで電話番号検索サービスを受けることができます。

◎ 起動

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Angel Line for Windows V2」の「Angel Line Ver2.04」をクリックする

はじめてAngel Line for Windowsを使う場合は、「設定」→「通信の設定」をクリックし、ご利用の通信環境にあわせて設定してください。



◎ 削除

1 本機に添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする

2 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う

3 「インストール」をクリックし、「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」を起動して「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストールプログラムの実行」画面の「インストールプログラムのコマンドライン」が「<CD-ROMドライブ名>:¥NSETUP.EXE」になっているので、「<CD-ROMドライブ名>:¥UNINST.EXE」に変更して、「完了」ボタンをクリックする

5 「アンインストールは次の内容を消去します」と表示されるので、削除する場合は「続行」ボタンをクリックする 削除が始まります。

6 「削除」で「確認」ボタンをクリックする

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「Angel Line for Windows」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3 「Angel Line for Windowsインストール」で「続行」をクリックする
- 4 「インストールディレクトリの設定」が表示されるので、確認してから「続行」ボタンをクリックする
インストールが始まります。
- 5 「インストール終了」で「確認」ボタンをクリックする
- 6 「システム設定」で「デフォルト」ボタンをクリックする

✓ **チェック!!** 「システム設定」で「する」ボタンをクリックすると、「通信システム設定」画面が表示されます。この画面は、Angel Lineを起動し、「設定」→「通信の設定」をクリックすると表示されます。ご利用の通信環境にあわせて設定してください。

- 7 「接続テスト」で「しない」ボタンをクリックする
- 8 「お疲れさまでした…」と表示されたら「確認」ボタンをクリックする
- 9 本機を再起動する



NEC Soft MPEG1.0

メディアプレーヤー、プレーヤNXなどで、MPEG1のファイルやVideo CD ファイルを再生するときに、データをデコードするために必要です。MPEG ファイルとしては、拡張子が“.mpg”のものほかに、ビデオCD内の拡張子が“.dat”のものを再生することができます。

 **チェック!!** LaVieでNEC Soft MPEG1.0を削除したあとインストールし直すには、再セットアップが必要となります。

◎ 起動

- 1** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「マルチメディア」→「メディアプレーヤー」をクリックする
- 2** 「デバイス」メニューから「NEC Soft MPEG1.0」を選ぶ
- 3** 「ファイルを開く」で再生したいMPEGファイルを選び、「開く」ボタンをクリックする
- 4** 再生ボタンをクリックする
再生が始まります。

◎ NEC Soft MPEG1.0についての注意

- ・ビデオのみのデータや、ビデオCDの静止画を含むデータは、現在の再生位置を示すスクロールバーの位置と実際の再生位置は、必ずしも一致しません。
- ・メディアプレーヤーのスクロールバーの右側にある小さなボタンは、インジケータがフレームのときのみ、こま送りとなります(順方向ボタン)。逆再生方向のボタンは、戻る場合と戻らない場合があります。
- ・画質優先モードで再生しているときに画像サイズを変更すると、再生が遅くなる場合があります。
- ・メディアプレーヤー、プレーヤー-NXでプルダウンメニューを表示すると、再生が停止します。再生中にキーボードから【Alt】を押したときも、同様に停止します。

◎ 削除

NEC Soft MPEG1.0の削除は、「コントロールパネル」の「マルチメディア」で行います。

NEC Soft MPEG1.0を削除するには、CD-ROMドライブが必要です。

- 1** メディアプレーヤーなど、NEC Soft MPEG1.0を使用するアプリケーションが起動していないことを確認する
- 2** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする
- 3** 「マルチメディア」をダブルクリックする
- 4** 「マルチメディアのプロパティ」から「デバイス」タブをクリックする

- 5** 「メディアコントロールデバイス」の左のプラス記号(+)をクリックする
デバイスドライバの一覧が表示されます。
- 6** 「NEC Soft MPEG1.0」をダブルクリックし、「NEC Soft MPEG1.0のプロパティ」で「削除」ボタンをクリックする
- 7** 「削除」画面で「はい」ボタンをクリックする
- 8** 「デバイスは削除されました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 9** 削除後に再起動を促すメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックする

プレーヤ-NX

音楽CD、ビデオCD、カラオケCD、フォトCDを再生表示します。

◎ プレーヤ-NXで利用できるCD

- ・音楽(オーディオCD)
- ・ビデオCD(Ver1.1)、ビデオCD(Ver2.0) /カラオケCD(Ver1.1)
- ・フォトCD
- ・フォトCDポートフォリオ

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エンターテインメント」で「プレーヤ-NX(CDプレーヤー)」をクリックする

音楽CDの場合



ビデオCDの場合



フォトCDの場合



◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う

- 2 「インストールと削除」の一覧から「プレーヤ-NX」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする削除が始まります。
- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 「アプリケーションの追加と削除」で「プレーヤ-NX」を削除すると、音楽CDをセットしても「CDプレーヤー」は自動起動しません。音楽CDをセットして「CDプレーヤー」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」を再追加してください。

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1~7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「プレーヤ-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「ようこそ! プレーヤ-NXの世界へ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「Folder Selection」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが自動的に始まります。
- 5 「プレーヤ-NXは正しくインストールされました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

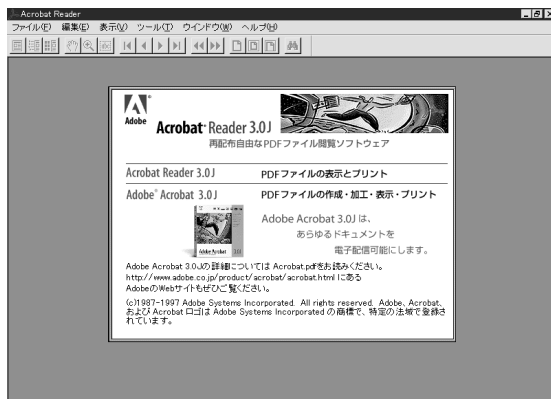
-  **チェック!!** ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生する場合は、NEC Soft MPEG1.0が必要です。
- ・プレーヤ-NXでビデオCDを再生しているときに、ビデオ画面の表示サイズを変更するには、プレーヤ-NXのビデオCDウィンドウをNXパッドなどのポインティングデバイスでドラッグして、表示サイズを変更してください。
 - ・「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」を削除または再追加すると、音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」は自動起動しません。音楽CDをセットして「プレーヤ-NX」を自動起動させる場合は、「CDプレーヤー」、「プレーヤ-NX」の順で再追加してください。

Acrobat Reader 3.0J

PDFファイル(拡張子が.PDFのファイル)を表示することができます。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adobe Acrobat」→「Acrobat Reader 3.0J」をクリックする



◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「選択したアプリケーションとそのすべてのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」をクリックしてください。
- 4 削除が終了し、「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 5 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックし、エクスプローラのウィンドウを表示する

- 6** エクスプローラの中で、C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥Adobe Acrobatフォルダが残っている場合は、そのフォルダアイコンを右クリックし「削除」をクリックする
フォルダの削除確認のウィンドウが表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。
- 7** エクスプローラの中でC:¥Acrobat3フォルダが残っている場合は、そのフォルダアイコンを右クリックし「削除」をクリックする
フォルダの削除確認のウィンドウが表示されたら、「はい」ボタンをクリックしてください。

◎ 追加

- 1** 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「Adobe Acrobat Reader 3.0J」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
- 3** 「Adobe Acrobat 3.0Jインストール」で「はい」ボタンをクリックする
- 4** 「ようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5** 「使用許諾契約書」の内容を読み、内容に同意できる場合は「はい」ボタンをクリックする
- 6** 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7** 「セットアップの完了」の画面が表示されたら、Acrobat Reader 3.0JのREADMEを読む場合はそのまま「終了」ボタンを、読まない場合は「Acrobat Reader 3.0J Readmeファイルを表示する。」のチェックを外してから、「終了」ボタンをクリックする
READMEファイルを読んだ場合は、右上の☒をクリックしてください。
- 8** 「セットアップが終了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

CyberTrio-NX

使用者のレベルに合わせて、OSの操作可能な範囲を設定することができます。

◎ CyberTrio-NXの機能

CyberTrio-NXは、Windows 98の利用環境を設定するアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。

次のモードから選ぶことができます。

・キッズモード

「マイプログラム」や「デスクトップ」に登録してあるアプリケーションのみを使うことができます。

・ベーシックモード

システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。

・アドバンスモード

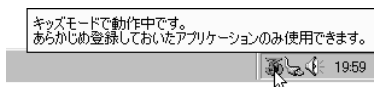
Windows 98へのフルアクセスが可能です。

出荷時には、ベーシックモードに設定されています。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NXヘルプ」をご覧ください。

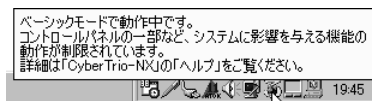
◎ アイコンでモードを見分ける

CyberTrio-NXが現在何のモードになっているかは、タスクバーに表示されているアイコンで知ることができます。

- ・キッズモードのとき：アイコンの色が緑色になっています。アイコンをポイントすると、次のように表示されます。



- ・ **ベーシックモードのとき:** アイコンの色が黄色になっています。アイコンをポイントすると、次のように表示されます。



- ・ **アドバンスモードのとき:** アイコンの色が赤色になっています。アイコンをポイントすると、次のように表示されます。



◎ モードの変更

1 キッズモードから変更する場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」でモードを選ぶ

ベーシックモード、アドバンスモードから変更する場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」でモードを選ぶ

キッズモードにする場合

「Go toキッズモード」をクリックします。

ベーシックモードにする場合

「Go toベーシックモード」をクリックします。

アドバンスモードにする場合

「Go toアドバンスモード」をクリックします。

現在のモードがベーシックモードまたはアドバンスモードの場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NXメニュー」をクリックしてから、各モードを選ぶこともできます。

◎ CyberTrio-NXで行う設定

設定できる項目には、パスワードの設定や利用できる環境の設定があります。

パスワードは「ベーシックモード」または「アドバンスモード」で設定できます。

◆ パスワードの設定

パスワードを設定することで、パスワードを知らない人がキッズモードを勝手に別のモードに変更するのを防ぎます。パスワードは、8文字内の英数字で設定可能です。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「キッズモードの設定」→「動作環境」をクリックする

2 「パスワードの設定」タブをクリックし、「パスワードを設定する」をチェックする

3 パスワードを入力する

パスワードは、8文字内の英数字で入力します。

4 パスワードの確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリックする

これで、キッズモード使用者は、パスワードを入力しないと他のモードへ移行できないようになります。

 **チェック!!** 入力したパスワードは忘れないようにしてください。万一パスワードを忘れてしまった場合は、次のパスワードを入力し、「ベーシックモード」が「アドバンスモード」に設定してから、もう一度パスワードを設定し直してください。

緊急用パスワード：71709981

その他CyberTrio-NXには、キッズモードで利用できるプログラムやWindows 98の使用環境をカスタマイズできる機能があります。詳しくは、ベーシックモードまたはアドバンスモードにして、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberTrio-NX」→「CyberTrio-NXヘルプ」をご覧ください。

◎ 削除

1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う

2 「インストールと削除」の一覧から「CyberTrio-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする

- 3 「選択したアプリケーションとそのコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 4 「CyberTrio-NXアンインストール」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックして再起動する

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberTrio-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberTrio-NX セットアップへようこそ!」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「インストール」画面で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。



CyberWarner-NX

OSが必要とするファイルを保護します。

Windows 98の動作に影響を与えてしまうファイルを監視し、ユーザが操作中に削除または変更を行おうとすると警告を行います。また、ログファイルを採取して、保守時に使うことができます。「CyberWarner-NX」は起動時に常駐するアプリケーションです。

◎ CyberWarner-NXを常駐させる

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「CyberWarner-NX」アイコンをダブルクリックする
- 2 「スタートアップ」タブの「開始」ボタンをクリックする

◎ CyberWarner-NXの常駐を終了する

- 1 タスクバーの右端に表示されている「CyberWarner-NX」アイコンをクリックする
- 2 「終了」をクリックする
- 3 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で「はい」ボタンをクリックする

◎ 削除

 **チェック!!** 「CyberWarner-NX」を常駐させていない場合は、手順3から行ってください。

- 1 タスクバーにある「CyberWarner-NX」アイコンをクリックし、「終了」をクリックする
- 2 「CyberWarner-NXのシャットダウン」で、「はい」ボタンをクリックする

- 3 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 4 「インストールと削除」の一覧から「CyberWarner-NX」をクリックし、「追加と削除」ボタンをクリックする
- 5 「選択したアプリケーションとコンポーネントを完全に削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「CyberWarner-NX」で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「CyberWarner-NX」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「CyberWarner-NX セットアップへようこそ!」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 5 「セットアップへようこそ!」と表示された場合は、「次へ」ボタンをクリックする
- 6 「インストール」画面で「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

ログファイルについて

◎ CyberWarner-NX LogViewer

ログ対象ファイルに対して操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われたとき、CyberWarner-NXは、その操作内容をログファイルに保存します。ログファイルに書き込まれた情報を参照するときは、CyberWarner-NX LogViewerを使います。

 **チェック!!** 採取されたログファイルは、CyberWarner-NX LogViewerの「保守モード」でのみ操作できます。保守モードはNECの担当員から指示があったときのみ使用してください。通常は使用することはできません。

◎ ログファイルの種類

ログファイルには、プライマリログファイルとバックアップログファイルの2種類があります。どちらもファイル内容は同じものですが、保存されている期間に違いがあります。ログ対象ファイル进行操作(移動、削除、修正、名前の変更)が行われると、その操作内容がログファイルに保存されます。

◎ ログ対象ファイル

ログ対象ファイルには、「Critical File」「Non Critical File」「Special」の3種類があります。

◆ CriticalFile

次のファイル进行操作した場合、操作の警告画面が表示され、操作しようとしたファイルが自動的に復旧(元の状態に戻る)されます。

¥command.com	¥windows¥rundll.exe
¥io.sys	¥windows¥rundll32.exe
¥himem.sys	¥windows¥progman.exe
¥windows¥win.com	¥windows¥control.exe
¥windows¥notepad.exe	¥windows¥winfile.exe
¥windows¥regedit.exe	¥windows¥taskman.exe
¥windows¥explorer.exe	¥windows¥aztpnp.exe
¥windows¥system¥vmm32¥*.*	¥windows¥winsock.dll
¥windows¥command.com	¥windows¥system.dat
¥windows¥himem.sys	¥windows¥user.dat
¥windows¥system¥sysedit.exe	
¥windows¥system¥iosubsys¥*.*	

◆ Non Critical File

次のファイルを操作した場合、操作の確認画面が表示されます。

¥autoexec.bat

¥config.sys

¥msdos.sys

¥windows¥command¥*.*

¥windows¥system¥*.dll

¥windows¥system¥*.vxd

◆ Special

次のファイルを操作すると、操作の確認画面が表示されます。また、アプリケーションをインストールしたときにこれらのファイルに修正が加わると、自動的に修正前の状態がログファイルに保存されます。

¥windows¥win.ini

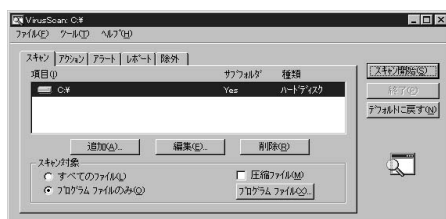
¥windows¥system.ini

VirusScan

コンピュータウィルスの検出、識別、および除去を行います。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScan」をクリックする



◎ ウィルス監視機能を有効にする

VirusScanには、Windowsで操作するファイルがウィルスに汚染されていないか監視する機能もあります。この機能を使うには、次の手順を行います。

- ✓ **チェック!!** ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「VirusScanコンソール」をクリックする
VirusScan Consoleが起動します。
- 2 一覧に表示されている「McAfee VShield」をクリックした後、メニューバーの「タスク」→「プロパティ」をクリックする
「タスクプロパティ」が起動します。
- 3 「タスクプロパティ」の「プログラム」タブの「詳細設定」ボタンをクリックする
VShield設定が起動します。
- 4 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを付け、「OK」ボタンをクリックする

- 5 「今すぐに読み込みを行いますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 6 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 7 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」→「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

◎ ウィルス監視機能を解除する

- 1 「ウィルス監視機能を有効にする」(→p.66)の手順1～3を行う
VShield設定が起動します。
- 2 「スキャン」タブの「情報」の「スタートアップ時に起動」をクリックしてチェックを外し、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「今すぐに読み込みを解除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする
- 4 「タスクプロパティ」の「OK」ボタンをクリックし、「タスクプロパティ」を終了する
- 5 VirusScan Consoleのメニューバーの「タスク」→「終了」をクリックし、VirusScan Consoleを終了する

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「インストールと削除」の一覧から「McAfee VirusScan v3.1.6 for Windows 9x(プレインストール版)」をクリックして「追加と削除」ボタンをクリックする
- 3 「McAfee VirusScanの削除が選択されました。本当にMcAfee VirusScanを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

- 4** 「削除後にシステムを再起動することをお勧めします。続行しますか?」と表示されたら「はい」をクリックする
削除が始まります。
- 5** 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 6** 「アンインストールが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 7** 本機を再起動する

◎ 追加

- 1** 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2** 「プロダクトの選択」で「McAfee VirusScan」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
セットアッププログラムが起動します。
- 3** 「セットアップへようこそ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4** 契約内容に同意の上、「はい」ボタンをクリックする
- 5** 「セットアップ方法」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
インストール先を変更する場合は、「参照」をクリックして、表示された画面の「パス」にインストール先を入力し、「OK」ボタンをクリックしてください。
- 6** 「コンポーネントの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 7** 「オプションの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

8 「DOSスキャナ インストール オプション選択」で「ブート時にシステムをスキャン」および「エマージェンシーディスクを作成」のチェックマークを外し、「次へ」ボタンをクリックする

「ブート時にシステムをスキャン」のチェックを外さずにインストールした場合、MS-DOS用アプリケーションが動作しなくなる場合があります。エマージェンシーディスクは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「エマージェンシーディスク作成」をクリックして作成することができます。

なお、エマージェンシーディスクの作成には、フォーマット済みのフロッピーディスクが2枚必要です。

詳しくは、VirusScanのヘルプをご覧ください。

9 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

10 「インストール設定の確認」で「次へ」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。

11 「システム領域のスキャンが完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする

12 「この製品についての最新の情報を表示しますか?」と表示されるので、このまま最新の情報を読む場合は「はい」ボタン、読まない場合は「いいえ」ボタンをクリックする

最新の情報は「スタート」ボタン→「プログラム」→「McAfee VirusScan」の「ウィルスデータベースの内容」をクリックして読むことができます。

13 インストールが終了すると、「インストールが完了しました」と表示されるので、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選び、「終了」ボタンをクリックする

Windows 98が再起動します。

14 Windows 98再起動後、「ウィルス監視機能を解除する」(→p.67)の手順1～5行う

ウィルス監視機能を有効にすると、ディスクアクセス時にウィルス検査を実行するため、アプリケーションなどの実行が遅くなります。

英語モードフォントを利用する

海外製Windows 98アプリケーションを日本語版Windows 98で使用する
場合、文字が正しく表示されません。文字モードを変換する必要があります。

 **チェック!!** 英語モードフォントを使用する場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を
使ってインストールします。

日本語モードフォントを使用したまま、本機で海外製Windows 98アプリケーションを利用する場合、著作権(©)や登録商標(®)、(ℓ)が正しく表示されません。そのため、使用するフォントの一部を英語モードフォントに切り替えて、正しく表示する必要があります。また、その逆に英語モードフォントを使用したまま、本機で日本語版Windows 98のアプリケーションを利用する場合、「ㇿ」「ヨ」「\」が正しく表示されないことがあります。そのときは、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えます。

それぞれのモードでの表示状態については、次のとおりです。

	海外製Windows 98 アプリケーションを使用	日本語版Windows 98 アプリケーションを使用
日本語モードフォント	「©」→「ㇿ」、「®」→「ヨ」、 「ℓ」→「\」	正しく表示される
英語モードフォント	正しく表示される	「ㇿ」→「©」、「ヨ」→「®」、 「\」→「ℓ」

◎ 追加－英語モードフォントへの切り替え

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ファイル」の「新しいフォントのインストール」を選択する
- 3 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする
- 4 「フォントの追加」の「ドライブ」に「アプリケーションCD-ROM」をセットしたドライブ(通常はQ: ¥)を指定する
- 5 「フォルダ」で「usfont」フォルダをダブルクリックする

6 「フォントの一覧」に「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」が表示されたら「すべて選択」をクリックし「OK」をクリックする

- ✓ **チェック!!** 使用しているフォントが英語モードフォントのままで、日本語版Windows 98アプリケーションをWindows 98で使用すると、「ウ」、「ヨ」、「\」が正しく表示されなくなります。この場合、英語モードフォントを日本語モードフォントに切り替えてください。

◎ 削除－日本語モードへの切り替え

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「フォント」アイコンをダブルクリックする

2 「FONTS」フォルダ内の「EnglishModeFixedSys(Set#6)」「EnglishModeSystem(Set#6)」「EnglishModeTerminal(Set#6)」(短く表示されることもあります)を選択し「ファイル」の「削除」を選ぶ

3 「これらのフォントを削除してもよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

- ✓ **チェック!!** 使用しているフォントが日本語モードフォントのままで、海外版Windows 98アプリケーションをWindows 98で使用すると、著作権(©)や登録商標(®)が正しく表示されなくなります。この場合、日本語モードフォントを英語モードフォントに切り替えてください。

駅すばあと

駅と駅間の距離、金額、最短時間、路線順などを見ることができます。

駅すばあとは、LB26C/50Aには添付されていません。

◎ 起動と使い方

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「駅すばあと全国版」の「駅すばあと」をクリックする



2 「出発地」と「目的地」を入力する

3 「探索」をクリックすると結果が表示される

◎ 削除

1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う

2 「セットアップと削除」の一覧から「駅すばあと」をクリックして「追加と削除」をクリックする

3 「駅すばあと」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする 削除が始まります。

4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする

5 「アンインストールが完了しました…」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする

◆ アイコンの削除

デスクトップに「駅すばあと」のアイコンが残った場合は、次の手順で削除してください。

1 アイコンを右クリックする

2 表示されたメニューで「削除」をクリックする

3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」ボタンをクリックする

◎ 追加

1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う

2 「プロダクトの選択」で「駅すばあと」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

3 「ようこそ」の画面が表示されたら「次へ」ボタンをクリックする

4 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

5 「プログラムフォルダの選択」で「次へ」ボタンをクリックする

6 「ファイルコピーの開始」で「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。

7 「駅すばあとのセットアップが完了しました」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする

◆ アイコンの追加

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
- 2 エクスプローラのウィンドウで、C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラム¥駅すばあと 全国版にある「駅すばあと」のアイコンを右クリックする
- 3 表示されたメニューで「コピー」をクリックする
- 4 デスクトップの画面を右クリックし、表示されたメニューで「貼り付け」をクリックする
「駅すばあと」アイコンがデスクトップに貼り付けられます。

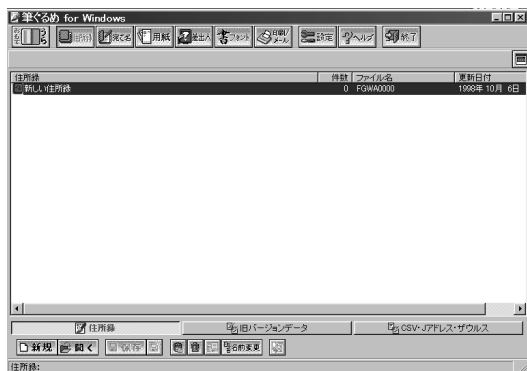
筆ぐるめ

ハガキの宛名書き、本文書きをいろいろと簡単に作成することができます。7桁の郵便番号にも対応しています。また、富士写真フイルム株式会社が提供する「F-DI ポストカードプリント」用のデータに変換することができます。

筆ぐるめは、LB26C/50Aには添付されていません。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「筆ぐるめVersion6.0」で「筆ぐるめVersion6.0」をクリックする



◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「筆ぐるめVersion6.0 for Windows」をクリックして「追加と削除」をクリックする
- 3 「筆ぐるめVersion6.0 for Windows」とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする
削除が始まります。

- 4 「共有ファイルを削除しますか?」と表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
- 5 「アンインストールが完了しました…」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
- 6 「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」でプリンタを開く
- 7 「Photoware/HomePD」を選択する
- 8 「ファイル」をクリックし、「削除」をクリックする
- 9 「プリンタ Photoware/Home-PD を削除してもよろしいですか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「筆ぐるめ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「筆ぐるめ-セットアップメニュー」ウィンドウから「筆ぐるめVersion6.0 for Windowsセットアップ」をクリックする
「ようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「次へ」ボタンをクリックする
名前と会社名を入力する画面が表示されます。
- 5 「名前」と「会社名」を入力し、「次へ」ボタンをクリックする
「登録確認」ウィンドウが表示されます。
- 6 「はい」ボタンをクリックする
「インストール先の選択」ウィンドウが表示されます。
- 7 「次へ」ボタンをクリックする
「セットアップ方法」ウィンドウが表示されます。

- 8 「標準」を選んで、「次へ」ボタンをクリックする
「プログラムフォルダの選択」ウィンドウが表示されます。
- 9 「次へ」ボタンをクリックする
「筆ぐるめのセットアップ開始確認」ウィンドウが表示されます。
- 10 「次へ」ボタンをクリックする
インストールが始まります。インストールが終了すると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。
- 11 「完了」ボタンをクリックする
再度、「筆ぐるめ-セットアップメニュー」ウィンドウが表示されます。
- 12 「筆ぐるめ-セットアップメニュー」ウィンドウから「Photoware/Home-PDセットアップ」をクリックする
「ソフトウェア製品使用許諾契約書」ウィンドウが表示されます。
- 13 「Yes」をクリックする
「Photoware/Home-PD Installer Ver1.5」ウィンドウが表示されます。
- 14 「確認」ボタンをクリックする
インストールが始まります。インストールが終了すると「インストールは正常に終了しました。」と表示されます。
- 15 「OK」ボタンをクリックする
再度、「筆ぐるめ-セットアップメニュー」ウィンドウが表示されます。
- 16 「終了」をクリックする
「SETUP」ウィンドウが表示されます。
- 17 「OK」ボタンをクリックする
- 18 Windowsを再起動する
これでインストールは完了です。



チェック!! Photoware/Home-PDをインストールすると、Photoware/Home-PDが標準プリンタに設定される場合があります。



パソコン用語集(一太郎モデル／Wordモデルのみ)

パソコンで使ういろいろな用語を辞書形式で解説しています。

◎ 起動

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「パソコン用語集」をクリックする

◎ 削除

- 1 「削除の準備」(→p.5)の手順1～2を行う
- 2 「セットアップと削除」の一覧から「その他のアプリケーションセットアップ」をクリックし、「追加と削除」をクリックする
- 3 「その他のアプリケーションセットアップ」で「次へ」ボタンをクリックする
- 4 「セットアップの方法の選択」で「カスタム」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
- 5 パソコン用語集のチェックを外して、「次へ」ボタンをクリックする
削除が始まります。
- 6 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

◎ 追加

- 1 「プロダクトの選択」(→p.7)の手順1～7を行う
- 2 「プロダクトの選択」で「その他のアプリケーションセットアップ」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 3 「その他アプリケーションセットアップ」で「次へ」ボタンをクリックする

4 「セットアップ方法の選択」で「カスタム」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

5 「カスタムセットアップ」でパソコン用語集を選び、「次へ」ボタンをクリックする

インストールが始まります。

-  **チェック!!** ・「コピー先に新しい日付のファイルが存在します。上書きしてよろしいですか」の表示が出たら、「いいえ」をクリックしてください。
- ・「このファイルはWindowsが使用中または書き込み禁止であるため上書きできません」という表示が出たら、「OK」ボタンをクリックしてください。

6 「セットアップが完了しました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

システム設定が変更された場合は、再起動のメッセージが表示されるので、「はい」を選び、システムを再起動してください。

再セットアップするには

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてください。

再セットアップを行うと、ハードディスクのファイルやフォルダはすべて消えてしまいます。大切なファイルは再セットアップの前にコピーしておいてください。

このPARTの内容

再セットアップとは

再セットアップの準備をする

標準再セットアップ

カスタム再セットアップ

Cドライブのみの再セットアップ

Windows 98の設定をする

Wordモデルの再セットアップ

一太郎モデルの再セットアップ

パソコンを使う準備

FAT32ファイルシステムの利用



再セットアップとは

次のような症状が出てパソコンのシステムが壊れてしまったときに、添付の「バックアップCD-ROM」を使ってパソコンのシステムを購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。

こんなときは再セットアップが必要です

- ・電源を入れたとき、電源ランプが点灯しているのにWindows 98が起動しない
- ・ハードディスクのプログラムが正常に動作しない
- ・ハードディスクのシステムファイルを削除してしまった
- ・CDドライブ(ハードディスク)の構成を変えたい



チェック!!

- ・再セットアップを行うと、WindowsやBIOSセットアップユーティリティ、BIOSセットアップメニューなどで設定した内容がすべて初期値に戻ってしまいます(パスワードの設定を除く)。再セットアップを行うときは、本当に必要かどうかよく判断してから行うようにしてください。
- ・再セットアップ前にスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードが設定されていた場合、それらの設定が引き続き有効になります。

再セットアップの種類

再セットアップには、次の2種類の方法があります。必要に応じて利用形態にあった方法を選んでください。

●標準再セットアップ

ハードディスクを、購入した時と同じ状態にする再セットアップ方法です。パソコン初心者の方や、システムを購入した時と同じ状態に戻したい方は、この方法を選んでください。

●カスタム再セットアップ

ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。CDドライブの容量をご購入時と変えずに、CDドライブだけを再セットアップすることもできます。

再セットアップ時の注意

再セットアップを行うときには必ず次の注意事項を守ってください。

◎マニュアルに記載されている手順どおりに行う

再セットアップを行うときは、必ずこのマニュアルに記載の手順を守ってください。手順を省略したりすると、正しく再セットアップすることができません。

◎再セットアップは途中でやめない

再セットアップの作業を途中で中断することはできません。いったん再セットアップを始めたら、必ず最後まで通して行ってください。

もし途中で作業を中断した場合は、最初から操作をやり直す必要があります。

再セットアップの準備をする

1. 必要なものを揃える

再セットアップには最低限次のものがが必要です。作業に入る前にあらかじめ準備しておいてください。

- 本機に添付されている「バックアップCD-ROM」と「システムインストールディスク」フロッピーディスク

モデルによっては、添付されているフロッピーディスクの枚数が異なります。添付されているすべてのフロッピーディスクが必要です。

- 本機に添付されている「Microsoft Windows 98ファーストステップガイド」

- 本機に添付されている「Microsoft Excel 97&Word 98&Outlook 98」CD-ROM (Wordモデルの方のみ)

- 本機に添付されている「一太郎9パック」CD-ROM (一太郎モデルの方のみ)

- フロッピーディスクドライブ

フロッピーディスクドライブが内蔵されていないモデルをご使用の方は、フロッピーディスクドライブを接続しておいてください。

- CD-ROMドライブ

NXノートベイのあるモデルでCD-ROMドライブを取り外して使用している方は、CD-ROMドライブをパソコンに取り付けておいてください。また、CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルをご使用の方は、別売のCD-ROMドライブと、そのCD-ROMドライブに添付されているドライブのフロッピーディスクをご用意ください。

LB26Cをご使用の方で別売のCD-ROMベースをご使用になる場合は、『活用ガイド ハードウェア編』をご覧のうえ、CD-ROMベースを取り付け、CD-ROMベースにフロッピーディスクドライブを取り付けておいてください。



- **チェック!!** 「システムインストールディスク(起動用)」は、あらかじめ別の1.44Mバイトフォーマットのフロッピーディスクにバックアップ(複製)をとり、これ以降の作業では複製の方を使用してください。元のディスクは大切に保管しておいてください。

- ・複製した「システムインストールディスク(起動用)」にはライトプロテクトをかけずに、書き込み可能な状態にしておいてください。

LT23D/54C、LT23D/54Dをご使用の方は、『活用ガイド ハードウェア編』をご覧になり、専用FDD外付ケーブルでフロッピーディスクドライブを接続してください。

LT23D/54C、LT23D/54Dをご使用の方は、CD-ROMドライブをNXノートベイに取り付けて、本機をご購入時の状態にしてください。

LB26Cをご使用の方で別売のCD-ROMベースをご使用になる場合は、『活用ガイド ハードウェア編』PART2の「CD-ROMベース」をご覧のうえ、CD-ROMベースを取り付け、CD-ROMベースにフロッピーディスクドライブを取り付けておいてください。

2. ハードディスクのデータのバックアップをとる

再セットアップを行うと、ハードディスク内にご自分で保存しておいたデータやアプリケーションはすべて消えてしまいます。消したくないデータがある場合は、必ず他のフロッピーディスクや外付けハードディスクなどにデータのバックアップをとってから再セットアップしてください。

用語 バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてもいように、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なデータのバックアップが有効です。

3. パソコンの設定を控える

再セットアップを行うと、インターネットやBIOSセットアップユーティリティ、BIOSセットアップメニューなどの設定はすべて購入時の状態に戻ってしまいます(パスワードの設定は除く)。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

控えておくもの

- ・インターネットのID
- ・インターネットのアドレス
- ・BIOSセットアップユーティリティ、BIOSセットアップメニューの設定など

BIGLOBEに入会している場合には、会員証にインターネット接続に必要な情報が記載されています(アクセスポイント以外)。

「BIGLOBEインターネット接続ツール」→「BIGLOBEかんたん設定ナビ」→「接続環境のバックアップと再設定」を実行することでインターネット接続に必要な情報のバックアップをとることができます。

4. パソコン本体の準備をする

次の各項目を確認して、準備を行ってください。

・ パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻す

次の手順に従ってパソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値にもどしてください。

◆ LW23D、LW23C/52C、LW23C/52Dの場合

1 パソコン本体の電源を入れる

NECのロゴが表示されます。

2 NECのロゴが表示されているうちにキーボードの【F2】を押す

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

3 キーボードの【F9】を押す

セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。

4 「はい」を選び、【Enter】を押す

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

5 キーボードの【F10】を押す

セットアップの確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい」を選び、【Enter】を押す

これでパソコン本体の設定(BIOS)の設定が初期値に戻りました。

◆ その他の機種の場合

1 パソコン本体の電源を入れる

NECのロゴが表示されます。

2 NECのロゴが表示されているうちにキーボードの【F2】を押す

3 画面の下にキーの説明が表示されたらキーボードの【F9】を押す
これでパソコン本体の設定(BIOSの設定)が初期値に戻りました。

 **チェック!!** パソコン本体の設定(BIOSの設定)を初期値に戻しても、スーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードは解除されません。

・ **パソコン本体の電源を切る**

スタンバイ状態(サスペンド)やハイバネーション状態になっている場合には一度データを保存し、電源を切ってください。

・ **ACアダプタを接続しておく**

バッテリー駆動では再セットアップすることはできません。必ずACアダプタを接続しておいてください。

これで再セットアップの準備がすべて整いました

これ以降は、再セットアップの方法によって手順が異なります。

- ・ **標準再セットアップ**→p.88「標準再セットアップ」へ
- ・ **カスタム再セットアップ**→p.92「カスタム再セットアップ」へ
- ・ **Cドライブのみの再セットアップ**→p.107「Cドライブのみの再セットアップ」へ

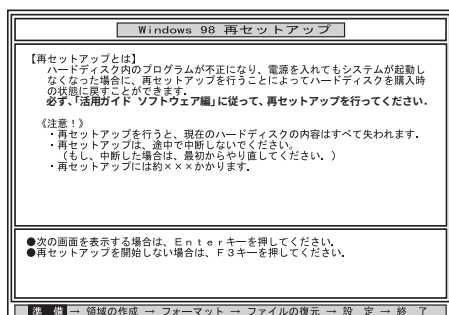
標準再セットアップ

1 パソコン本体の電源を入れる

電源ランプが点灯し、NECのロゴが表示されます。

2 NECのロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

次の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。

✓チェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

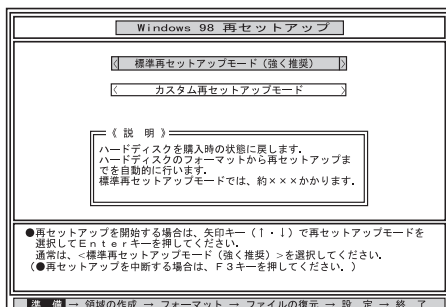
また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

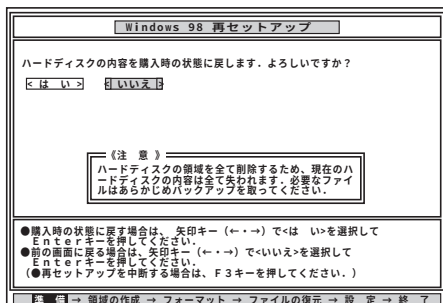


- ✓ **チェック!!** ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを操作したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回警告音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

6 「標準再セットアップモード (強く推奨)」が黄色になっているので、そのまま【Enter】を押す

「標準再セットアップモード (強く推奨)」が黄色になっていないときは、【↑】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

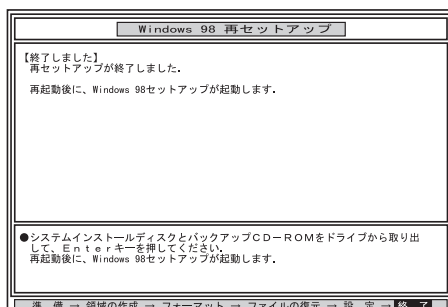
「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。



7 「いいえ」が黄色になっているので、【←】を押して、「はい」を黄色にしてから【Enter】を押す

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



✔ **チェック!!** この画面が表示されなかったときは、再セットアップが正常に行われていません。初めからやり直してください。

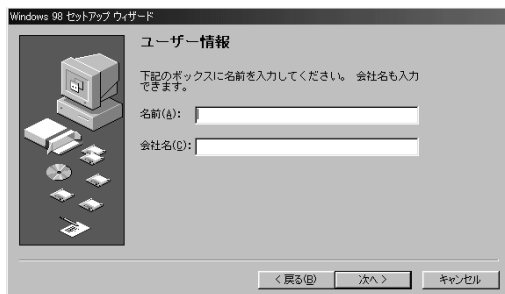
8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク（起動用）」を取り出す

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

✔ **チェック!!** CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルの場合は、外付けのCD-ROMドライブとPCカードを取り外してください。

10 【Enter】を押す

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。



このあと、P.110の「Windows 98の設定をする」に進んでください。

カスタム再セットアップ

カスタム再セットアップでは、次のような手順で作業を行います。

1. 現在のハードディスク領域を削除する
2. ハードディスクに新しい領域を作成する
3. ドライブを初期化する
4. システムを再セットアップする

1. 現在のハードディスク領域を削除する

 **チェック!!** 領域を削除するときは、「論理MS-DOSドライブ→拡張MS-DOS領域→基本MS-DOS領域」の順に削除してください。

MS-DOS領域

Windowsが使用する領域のことを「MS-DOS領域」といいます。

基本MS-DOS領域

システムを起動することができるドライブです。Cドライブが割り当てられ、ここにWindows 98をインストールします。基本MS-DOS領域は1つのハードディスクにつき1つしか作成できません。

拡張MS-DOS領域

基本MS-DOS領域以外のMS-DOS領域です。ここからシステムを起動することはできません。拡張MS-DOS領域は1つのハードディスクにつき1つしか作成できません。拡張MS-DOS領域の中に論理MS-DOSドライブを割り当てることでDドライブ以降として領域を割り当てることができます。

論理MS-DOSドライブ

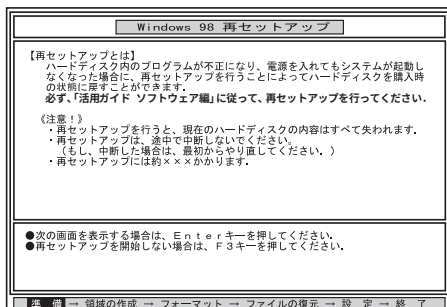
拡張MS-DOS領域の中に作成します。論理MS-DOSドライブは複数作成することができます。ここでDドライブ以降を作成します。

1 パソコン本体の電源を入れる

電源ランプが点灯し、NECのロゴが表示されます。

2 NECのロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

次の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。

✓チェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

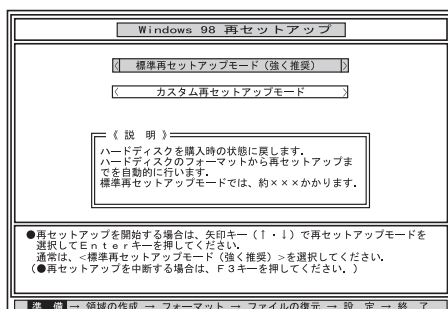
また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

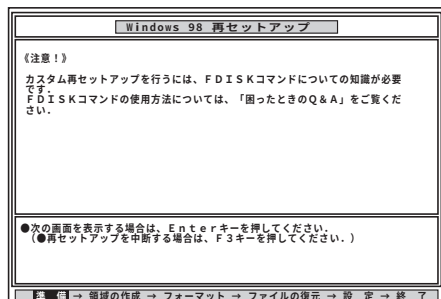
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

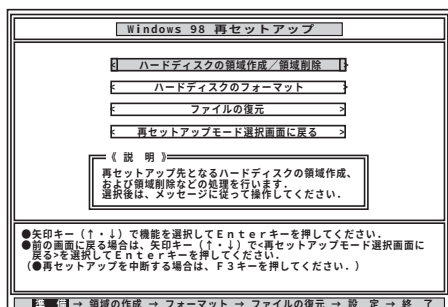


6 【↓】を1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは、【↑】を押して戻す)

カスタム再セットアップを中断して、標準再セットアップを行うときは、【F3】を押し、画面のメッセージに従って最初からやり直してください。



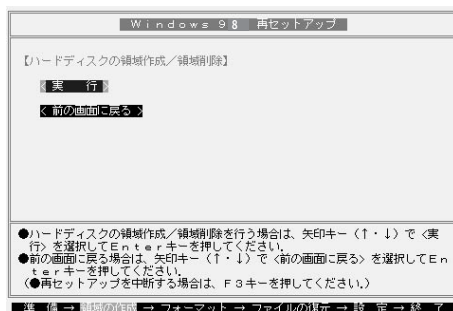
7 【Enter】を押す



8 「ハードディスクの領域作成／領域削除」が黄色になっているので、そのまま【Enter】を押す

「ハードディスクの領域作成／領域削除」が黄色になっていないときは、【↑】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

「ハードディスクの領域作成／領域削除」画面が表示されます。



9 「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】を押す

「実行」が黄色になっていないときは、【↑】を押して、黄色にしてから【Enter】を押してください。

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか(Y/N)……?」と表示されます。

ここでは「N」を選び、CDドライブをFAT16にする手順について説明します。

10 【N】を押して、【Enter】を押す

ドライブをFAT32にする場合は、「FAT32を使用するときの注意」(→ p.124)をご覧ください。 「Y」を選び、以降の手順で操作してください。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないときは、「◎基本MS-DOS領域を削除する」(p.97)へ進んでください。

論理MS-DOSドライブおよび拡張MS-DOS領域があるときは、「◎論理MS-DOSドライブを削除する」(p.96)へ進んでください。

◎ 論理MS-DOSドライブを削除する

- 1** 「FDISKオプション」の画面で、**[3]**(領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、**[Enter]**を押す
- 2** **[3]**(拡張 MS-DOS 領域内の論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、**[Enter]**を押す
ドライブ一覧とともに、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。
- 3** 削除するドライブを選び(Dドライブの場合は**[D]**を押す)、**[Enter]**を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 4** ボリュームラベルの入力が必要なときは、入力して**[Enter]**を押す
入力する必要がないとき(削除する領域にボリュームラベルがつけられていないとき)は、そのまま**[Enter]**を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 5** **[Y]**を押して**[Enter]**を押す
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました」と表示されます。
- 6** 残りのドライブがあるときも、同様に3～5の手順ですべて削除する
すべてのドライブが削除されると「拡張 MS-DOS 領域の論理ドライブはすべて削除されました」と表示されます。
- 7** **[Esc]**を押す
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました」と表示されます。
- 8** **[Esc]**を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を削除します。

◎ 拡張MS-DOS領域を削除する

- 1 「FDISKオプション」の画面で、**[3]**(領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、**[Enter]**を押す
- 2 **[2]**(拡張 MS-DOS 領域を削除)を押して、**[Enter]**を押す
「削除した拡張 MS-DOS 領域のデータはなくなります。続けますか (Y/N)」と表示されます。
- 3 **[Y]**を押して**[Enter]**を押す
「拡張 MS-DOS 領域を削除しました」と表示されます。
- 4 **[Esc]**を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

◎ 基本MS-DOS領域を削除する

- 1 「FDISKオプション」の画面で、**[3]**(領域または論理 MS-DOS ドライブを削除)を押して、**[Enter]**を押す
- 2 **[1]**(基本 MS-DOS 領域を削除)を押して、**[Enter]**を押す
現在のハードディスクの状態とともに、「削除した基本 MS-DOS 領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されます。
- 3 **[1]**を押して、**[Enter]**を押す
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。
- 4 「WINDOWS98」と入力して(別のボリュームラベルの場合はその名前を入力、何もボリュームラベルが付けられていない場合はなにも入力せずそのままの状態)、**[Enter]**を押す
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。
- 5 **[Y]**を押して**[Enter]**を押す
「基本 MS-DOS 領域を削除しました」と表示されます。
- 6 **[Esc]**を押す
「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に「2.ハードディスクに新しい領域を作成する」に進んでください。

2.ハードディスクに新しい領域を作成する

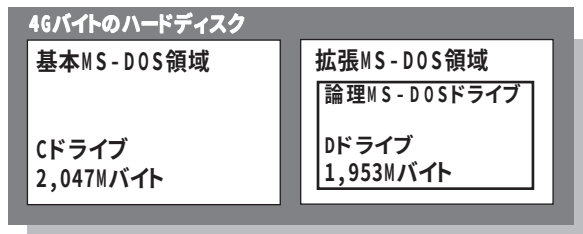
✓ **チェック!** 領域を作成するときは、「基本MS-DOS領域→拡張MS-DOS領域→論理MS-DOSドライブ」の順に作成してください。

本機では、次のようにして削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を分けます。

例：ハードディスクの容量が4Gバイトある場合

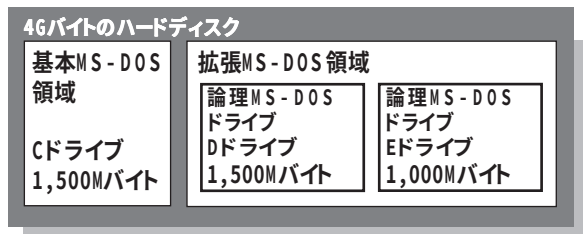
領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域を最大2,047Mバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域をすべて論理MS-DOSドライブにする。



領域の分け方の例(2)

4Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を1,500Mバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を1,500Mバイト、1,000Mバイトの論理MS-DOSドライブにする。



◎ 基本MS-DOS領域を作成する

✓チェック!! カスタム再セットアップでは、基本MS-DOS領域(Cドライブ)にWindows 98のシステムやアプリケーションがインストールされます。領域のサイズを指定して作成するときには、次の容量より大きくしてください。

- ・ 一太郎モデル 1,500Mバイト+本機に搭載されているメモリ容量
- ・ Wordモデル 1,300Mバイト+本機に搭載されているメモリ容量
- ・ 上記以外のモデル 1,000Mバイト+本機に搭載されているメモリ容量

基本MS-DOS領域を最大に割り当てるかどうかで作成手順が違います。それぞれ該当する部分をお読みください。

- ・ 最大に割り当てる場合→◆基本MS-DOS領域を最大に割り当てる
- ・ 最大に割り当てないでサイズを指定する→◆基本MS-DOS領域を、サイズを指定して割り当てる(p.100)

◆基本MS-DOS領域を最大に割り当てる

1 「FDISKオプション」の画面で、【1】(MS-DOS 領域または論理MS-DOS ドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
「どれか選んでください」と表示されます。

2 【1】(基本 MS-DOS 領域を作成)を押して、【Enter】を押す
「基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されます。

3 【Y】を押して、【Enter】を押す
「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

4 【Esc】を押す
表示されたメッセージによって次のいずれかの手順を行ってください。

・「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されたとき

(1)【Enter】を押す
本機が再起動されます。

基本MS-DOS領域の作成が完了しました。p.103の「3.ドライブを初期化する」に進んでください。

・「**拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOSを作成しますか?**」と表示されたとき

(1)「はい」を選んで【Enter】を押す

「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか?(Y/N)…?」と表示されます。

ここでは「N」を選び、ドライブをFAT16にする手順について説明します。ドライブをFAT32にする場合は、「FAT32を使用するときの注意」(→p.124)をご覧ください。また、「Y」を選び、以降の手順で操作してください。

(2)【N】を押して【Enter】を押す

p.101の「**◎拡張MS-DOS領域を作成する**」に進んでください。

◆基本MS-DOS領域を、サイズを指定して割り当てる

1 「FDISKオプション」の画面で【1】(MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)を押して、【Enter】を押す
「どれか選んでください」と表示されます。

2 【1】(基本 MS-DOS 領域を作成)を押して、【Enter】を押す
基本 MS-DOS 領域に使用できる最大サイズを割り当てますか(同時にその領域をアクティブにします)(Y/N)」と表示されます。

3 【N】を押して、【Enter】を押す
「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。基本 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。

4 数値を入力する
すでに最大領域2,047が入力された状態で表示されているので、そのまま【Enter】を押すと最大領域が作成されます。

5 【Enter】を押す
「基本 MS-DOS 領域を作成しました」と表示されます。

6 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

7 [2] (アクティブな領域を設定) を押し、【Enter】を押す

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

8 [1] を押し、【Enter】を押す

「領域1がアクティブになりました」と表示されます。

9 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域を作成します。

◎ 拡張MS-DOS領域を作成する

1 [1] (MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成) を押し、【Enter】を押す

2 [2] (拡張 MS-DOS 領域を作成) を押し、【Enter】を押す

「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張 MS-DOS 領域を作ります」と表示されます。

3 最大サイズが表示されていることを確認して、【Enter】を押す

「拡張 MS-DOS 領域を作成しました」と表示されます。

4 【Esc】を押す

「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

次に論理MS-DOSドライブを割り当てます。

◎ 論理MS-DOSドライブを割り当てる

1 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てないときは、数字を入力して【Enter】を押す

そのままの状態では【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

作成されると、「論理 MS-DOS ドライブを作成しました。ドライブ名は変更または追加されました」と表示されます。

2 割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、続けて「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されるので、最大サイズで割り当てないときは、数値を入力して【Enter】を押す

そのままの状態でも【Enter】を押すと、自動的に最大サイズが割り当てられます。

3 拡張MS-DOS領域の残りがなくなるまで、手順2を繰り返して、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当てる すべての領域が割り当てられると、「拡張 MS-DOS 領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられています」と表示されます。

4 【Esc】を押す

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

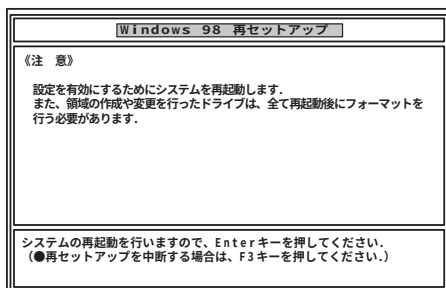
FDISKオプションの画面の「4. 領域情報を表示」で作成した領域を確認することができます。

5 【Esc】を押す

「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

6 【Esc】を押す

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。



7 【Enter】を押す

パソコンが自動的に再起動します。

自動的に再起動しない場合は、電源スイッチを押して電源を切り、約5秒以上待ってからもう一度電源を入れます。

機種によって、再セットアップの注意事項を説明する画面が表示されることがあります。内容をよく読んで、【Enter】を押してください。



チェック!! 別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

FAT32ファイルシステムを使用して論理MS-DOSドライブを作成する場合には、「FAT32を使用するときの注意」(→p.124)をご覧ください、内容をよく確認しておいてください。

Windows 98 再セットアップの画面が表示されます。

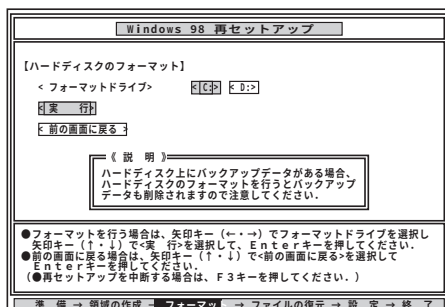
これで領域は作成されました。

次に「3.ドライブを初期化する」に進んでください。

3. ドライブを初期化する

新しく確保した領域を、次の手順で初期化(フォーマット)します。

- 1 【↓】を1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは、【↑】を押して戻す) 次の画面が表示されます。



2 「C:」が黄色になっているときには、【Enter】を押す(【→】を押し過ぎたときは、【←】を押して戻す)

「注意!ドライブC:のハードディスクのデータは全てなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。

3 【Y】を押して、【Enter】を押す

フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、5分ほどかかります。

フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。

4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押します。必要がなければ、【Enter】だけを押す

ボリュームラベルは、半角文字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力できます。

「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

用語 ボリュームラベル

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと全般シートで入力、変更することができます。

新しく領域を確保したドライブはすべて、手順1~4をくりかえして、フォーマットしてください。(手順2のドライブ名は、【→】を押して選んでください)

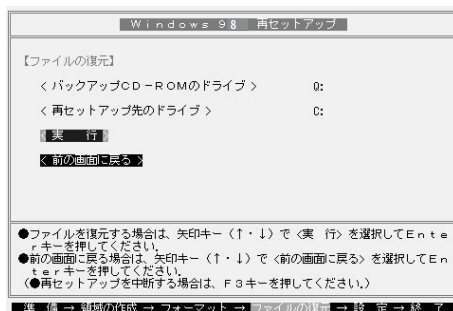


チェック!!

- ・領域を削除しなかったドライブはフォーマットしないでください。フォーマットすると、ドライブ内のすべてのデータが削除されます。
- ・「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

4. システムを再セットアップする

- 1 「Windows 98 再セットアップ」の画面で【↓】を数回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは、【↑】を押して戻す)

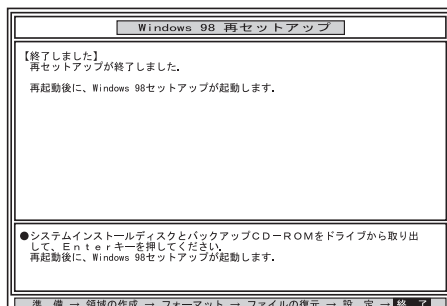


2 【Enter】を押す

システムの再セットアップが始まります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

- チェック!!** ・ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを操作したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回警告音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



3 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク (起動用)」を取り出す

4 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す
CD-ROMドライブが内蔵されていないモデルの場合は、外付けのCD-ROMドライブを取り外し、PCカードスロットからPCカードを抜いてください。

5 【Enter】を押す
Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

このあと、P.110の「Windows 98の設定をする」に進んでください。

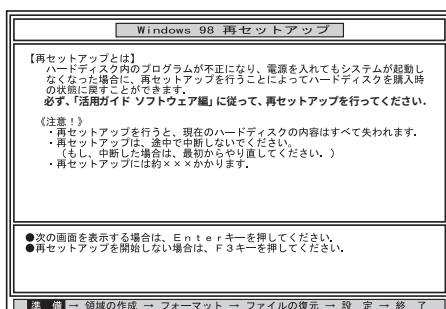
Cドライブのみの再セットアップ

1 パソコン本体の電源を入れる

電源ランプが点灯し、NECのロゴが表示されます。

2 NECのロゴが表示されたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

次の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。画面が表示されなかったときは、フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切ってもう一度手順1からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。上の画面で確認してください。



チェック!!

別売のCD-ROMドライブをご使用の場合、CD-ROMドライブ用ドライバをフロッピーディスクドライブに入れ替えるようメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

また、CD-ROMドライブが接続されていないことを示すメッセージが表示されることがあります。このような場合にはメッセージに従ってください。

3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットする

4 【Enter】を押す

「再セットアップの準備」の画面が表示されます。

5 【Enter】を押す

再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。

6 【↓】を一回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは【↑】を押して戻す)

「注意」の画面が表示されます。

7 【Enter】を押す

操作を選択する画面が表示されます。

8 【↓】を一回押して、「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは【↑】を押して戻す)

「ハードディスクのフォーマット」の画面が表示されます。

9 「C:」が黄色になっているので【Enter】を押す

「注意!ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。

10 【Y】を押して【Enter】を押す

フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが5分ほどかかります。フォーマットが終わると「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

 **チェック!!** 「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

11 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】を押す(必要がなければ【Enter】だけを押す)

Windows 98セットアップの操作を選択する画面に戻ります。

ボリュームラベルは半角文字で11文字まで、全角文字で5文字まで入力することができます。

- 12** 【↓】を数回押して、「ファイルの復元」が黄色になったら【Enter】を押す(【↓】を押し過ぎたときは【↑】を押して戻す)
「ファイルの復元」の画面が表示されます。

13 【Enter】を押す

システムの再セットアップが始まります。種類モデルによって再セットアップにかかる時間は異なりますが約30分～60分かかります。途中でフロッピーディスクを入れ替えるメッセージが表示されたら画面の指示に従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。

- ✓ **チェック!!** ・ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面の指示がない限りCD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを操作したりしないでください。
- ・再セットアップ中に数回警告音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

システムの復元が終わると「終了しました」の画面が表示されます。

- 14** フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出す

- 15** CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出す

16 【Enter】を押す

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

このあと、P.110の「Windows 98の設定をする」に進んでください。

Windows 98の設定をする

1 「ユーザー情報」のウィンドウで、キーボードを使ってこのパソコンを使う人の名前と会社名を入力する

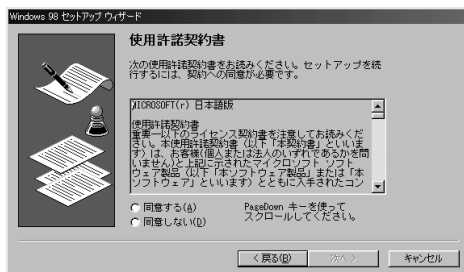
名前や会社名は、ローマ字でも、漢字やカタカナでもかまいません。

- ✓ **チェック!!**
- ・名前を入力しないと、次の手順に進めません。会社名は入力しなくてもかまいません。
 - ・ここで入力した名前、会社名は、また再セットアップし直す以外に変更する方法はありません。
 - ・一太郎モデルをお使いの場合、画面右下に「MS-IME98ツールバー」が表示されますが異常ではありません。ここでは「MS-IME98」で日本語を入力します。

2 入力が終わったら「次へ」ボタンをクリックする

3 画面に表示される「使用許諾契約書」を確認する

▼(スクロールボタン)をクリックするか、キーボードの【PgDn】を押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。



4 「同意する」の○をクリックして●(オン)にし、「次へ」ボタンをクリックする

- ✓ **チェック!!**
- 「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、もう一度最初から再セットアップし直してください。

- 5** キーボードを使ってプロダクト キーを半角文字で入力する
 プロダクト キーは、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。



- ✓ チェック!!** 『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は紛失しないように気をつけてください。表紙に記載されている「プロダクト キー」がわからないと、再セットアップできません。

- 6** 「次へ」ボタンをクリックする

- 7** 「すべての情報が保存されました。」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする

自動的にWindows 98が再起動し、Windows 98のデスクトップ画面が表示されます。

- 8** 「スタート」ボタン→「本機を使う準備をします」をクリックした後、一度Windowsを終了し、もう一度電源を入れ直す

これ以降は、ご使用のモデルにより手順が異なります

- Wordモデル→p.112「Wordモデルの再セットアップ」へ
- 一太郎モデル→p.119「一太郎モデルの再セットアップ」へ
- 上記以外のモデル→これで再セットアップは終了です。p.123「パソコンを使う準備」へ進んでください。

Wordモデルの再セットアップ

Wordモデルでは、次の各ソフトウェアの再セットアップが必要です。

- Excel 97の再セットアップ
- Word 98の再セットアップ
- Draw 98の再セットアップ
- Outlook 98の再セットアップ

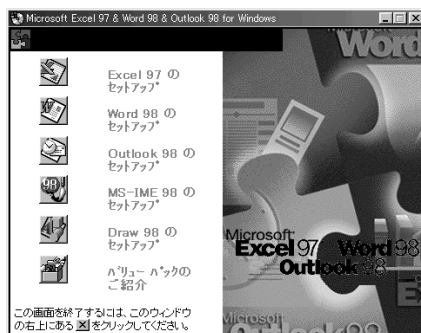
✓チェック!! MS-IME 98は本機に標準で登録されています。「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMに入っているMS-IME 98は再セットアップしないでください。

◎ Excel 97を再セットアップする

1 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする

自動的に、次の画面が表示されます。

自動的に表示されないときは、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMのルートフォルダ内にある「Autorun.exe」をダブルクリックしてください。



2 (Microsoft Excel 97のセットアップ)をクリックする

「Microsoft Excel 97のセットアップ」ウィンドウが表示されます。

3 「継続」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows 98のユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください。

4 「OK」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

5 「OK」ボタンをクリックする

「プロダクトID」ウィンドウが表示されます。Product IDは、「同意書／オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。

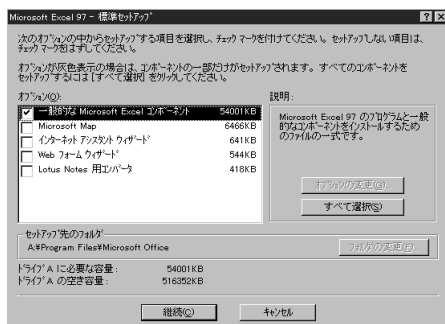
6 「OK」ボタンをクリックする

「Microsoft Excelを次のフォルダにセットアップします。」というウィンドウが表示されます。

7 「OK」ボタンをクリックする

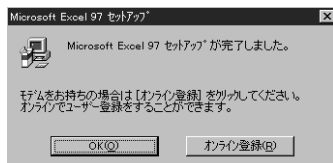
「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」かを選ぶウィンドウが表示されます。

8 (標準セットアップ)をクリックする



9 「継続」ボタンをクリックする

Excel 97のセットアップが始まります。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



10 「OK」ボタンをクリックする

p.111の手順1の画面が表示されます。

11 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする

12 C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「Microsoft Excel」アイコンを右クリックする

13 「コピー」をクリックする

14 デスクトップの画面上で右クリックし、「貼り付け」をクリックする

◎ Word 98を再セットアップする

1 (Microsoft Word 98のセットアップ)をクリックする

「Microsoft Word 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、Windows 98のユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください(Excel 97の再セットアップで「名前」や「所属」を変更したときは、その「名前」と「所属」が表示されます)。

3 「OK」ボタンをクリックする

「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

4 「OK」ボタンをクリックする

「プロダクトID」ウィンドウが表示されます。プロダクトIDは、「同意書／オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。

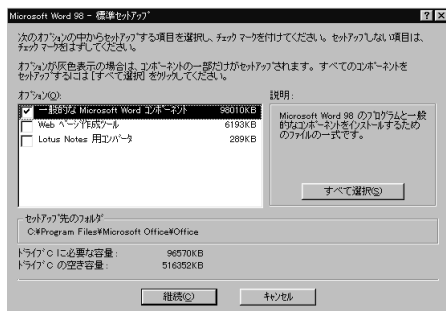
5 「OK」ボタンをクリックする

「Microsoft Wordを次のフォルダにセットアップします。」というウィンドウが表示されます。

6 「OK」ボタンをクリックする

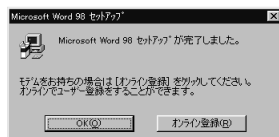
「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」かを選ぶウィンドウが表示されます。

7 (標準セットアップ)をクリックする



8 「継続」ボタンをクリックする

Word 98のセットアップが始まります。数分でセットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



9 「OK」ボタンをクリックする

p.112の手順1の画面が表示されます。

10 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする

11 C:¥Windows¥スタートメニュー¥プログラムにある「Microsoft Word」アイコンを右クリックする

12 「コピー」をクリックする

13 デスクトップの画面上で右クリックし、「貼り付け」をクリックする

◎ Draw 98を再セットアップする

1  (Draw 98のセットアップ)をクリックする
「Microsoft Draw 98セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」ボタンをクリックする
「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください」と表示されます。

3  (継続)をクリックする
Draw 98のセットアップが始まります。

4 「Microsoft Draw 98セットアップが完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
p.112の手順1の画面が表示されます。

◎ Outlook 98を再セットアップする

1  (Outlook 98のセットアップ)をクリックする
「Outlook 98アクティブセットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「次へ」ボタンをクリックする
「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

3 「同意する」を選び、「次へ」ボタンをクリックする
「登録」ウィンドウが表示されます。

4 ユーザー名などの必要情報を入力し、CDキーを正しく入力して「次へ」ボタンをクリックする
「インストールオプション」ウィンドウが表示されます。



チェック!! CDキーは、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMの袋の裏側に記載されています。

- 5** 「標準インストール」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「電子メール アップグレード オプション」ウィンドウが表示されます。
- 6** 「上記以外のメールプログラム」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする
「電子メールサービスオプション」ウィンドウが表示されます。
- 7** 「インターネットのみ」が選択されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
「インストールフォルダ」ウィンドウが表示されます。
- 8** Outlook 98をインストールするフォルダが表示されていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックする
Outlook 98のセットアップが始まります。
「新しいコンポーネントをアップグレードしますか」というメッセージが表示された場合は、「更新された項目のみアップグレード」になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。
- 9** 「コンポーネントのインストールは完了しました」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。
- 10** 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」をクリックする
エクスプローラのウィンドウが表示されます。
- 11** 「Q:¥Patch」フォルダにある「Outptch2」アイコンをダブルクリックする
- 12** 「このパッチを実行する前に～」と表示されたら、Outlook 98が起動していないことを確認して「はい」ボタンをクリックする

- 13** 「パッチのインストールは完了しました」と表示されたら、「OK」ボタンをクリックする
- 14** ウィンドウ右上の  をクリックして、エクスプローラのウィンドウを閉じる
- 15** CD-ROM をCD-ROMドライブから取り出す
- 16** 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする
- 17** 「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

これで再セットアップは終了です。
このあと、P.123の「パソコンを使う準備」に進んでください。

一太郎モデルの再セットアップ

一太郎9パックをご購入時と同じ状態にするには、次の作業が必要です。

- ・一太郎9パックをセットアップする
- ・ショートカットやATOKパレットを削除する

1. 一太郎9パックをセットアップする

- 1** CD-ROMドライブに「一太郎9パックCD-ROM」をセットする
自動的に「AutoPlayプログラム」が起動します。
- 2** 「Welcome to JUSTSYSTEM」で「一太郎9パックのセットアップ」をクリックする
- 3** 「一太郎9パックのセットアップ」で「セットアップ開始」をクリックする
- 4** 「使用許諾契約の確認」で「確認」ボタンをクリックする
「更新の確認」が表示された場合は、「セットアップ続行」をクリックしてください。
- 5** 「一太郎9パックのセットアップ開始」で「次へ」ボタンをクリックする
「使用者名・法人名を登録します」が表示されます。
- 6** 必要事項を入力し「次へ」ボタンをクリックする
「シリアルナンバー・UserIDを登録します」と表示されます。
- 7** シリアルナンバーとUserIDを入力して「次へ」ボタンをクリックする
- 8** 「使用者名・シリアルナンバーの確認」で「登録する」をクリックする
「セットアップ方法を選択します」が表示されます。
- 9** 「標準」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

- 10** 「標準モードでセットアップすると・・・」で「次へ」ボタンをクリックする
- 11** 「サンプルファイルの選択」で「次へ」ボタンをクリックする
- 12** 「セットアップするフォルダを設定します」で「次へ」ボタンをクリックする
- 13** 「ファイルのコピーを開始します」で「コピー開始」をクリックする
一太郎9パックのインストールが始まります。
- 14** 「インターネットヘダイアルアップで接続しますか?」と表示されたら、「はい」を選び、「OK」ボタンをクリックする
- 15** 「JustNetに入会するには」で「確認」をクリックする
- 16** 「一太郎9パックのセットアップ終了」と表示されたら「再起動」をクリックする
「一太郎9パック」画面が表示された場合は、「OK」ボタンをクリックする

2. ショートカットやATOKパレットを削除する

一太郎9パックをご購入時と同じ状態にするには、一太郎9パックをインストールした後、さらに次の設定が必要です。必要に応じて、設定の変更を行ってください。

- ・ デスクトップにある「Shuriken」のショートカットを削除する
- ・ タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する
- ・ ATOKパレットを非表示にする
- ・ スタートアップに登録されているショートカットを削除する

◎ デスクトップにある「Shuriken」のショートカットを削除する

- 1** デスクトップの「Shuriken」のショートカットを右クリックする
- 2** 表示されたメニューから「削除」をクリックする

3 「ファイルの削除の確認」で、「はい」をクリックする

◎ タスクバーのクイック起動のショートカットを削除する

- 1 クイック起動の削除したいショートカットを右クリックする
- 2 表示されたメニューから「削除」をクリックする
- 3 「ファイルの削除の確認」で「はい」をクリックする

◎ ATOKパレットを非表示にする

- 1 ATOKパレットの「メニュー」ボタンをクリックする
- 2 表示されたメニューから、「プロパティ」をクリックする
- 3 ATOK12プロパティのダイアログで、「パレット」タブをクリックする
- 4 「日本語入力-オフで表示」の項目を「しない」に変更し、「OK」ボタンをクリックする

◎ スタートアップに登録されている、ショートカットを削除する

- 1 「スタート」メニューから、「設定」→「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリックする
- 2 「タスクバーのプロパティ」で「[スタート]メニューの設定」タブをクリックする
- 3 「削除」ボタンをクリックする
- 4 「スタートアップ」をダブルクリックし、「JSクイックサーチファイル自動更新」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 5 「JSクイックランチ」をクリックし「削除」ボタンをクリックする
- 6 「閉じる」をクリックする

7 「タスクバーのプロパティ」で「OK」をクリックする

これで再セットアップは終了です。
このあと、p.123の「パソコンを使う準備」に進んでください。



パソコンを使う準備

再セットアップが終了したら、パソコンを使う準備をします。

- 周辺機器を使用する場合は、機器をパソコン本体に接続する
- インターネットの設定やBIOSセットアップユーティリティ、BIOSセットアップメニューの設定をやり直す

再セットアップ前にスーパーバイザーパスワードやユーザーパスワードが設定されていた場合、それらの設定が引き続き有効になっています。再セットアップ後に設定し直す必要はありません。

BIGLOBEに加入している場合は、すでに取得しているIDやアドレスをそのまま使うことができます。

再セットアップ後にサインアップをやり直す必要はありません。

本機をご購入後にご自分でインストールして使用していたアプリケーションは、再度インストールし直す必要があります。

CDドライブのみの再セットアップを行った場合は、Dドライブ以降のドライブにアプリケーションが残っていてもアプリケーションを再度インストールし直す必要があります。



FAT32ファイルシステムの利用

本機にインストールされているWindows 98では、FAT32ファイルシステムをサポートしています。ここでは、FAT32ファイルシステムの概要や設定方法について説明します。

FAT (File Allocation Table) ファイルシステム

MS-DOSやWindowsで使用するディスク上で、どの場所にどのようなファイルがあるかを記録・管理するシステムのことで、

FAT16はMS-DOSや従来のWindowsで使われている基本的なファイルシステムで、FAT32はFAT16を拡張したファイルシステムです。

従来のFAT16では、2Gバイトの容量を超える領域を扱えませんでした。FAT32では理論上2TB(2,047Gバイト)までの容量を扱うことができます。

参照 **FAT32に関する情報→「Windows」フォルダのGENERAL.TXT**

本機は、ご購入時の状態では、FAT32ファイルシステムで次のようにハードディスクが領域確保されています。

- ・Cドライブ・・・2Gバイト(FAT32ファイルシステム)
- ・Dドライブ・・・残りの領域(FAT32ファイルシステム)

◎ FAT32を使用するときの注意

FAT32を使用するときは、次の注意事項を確認してからご使用ください。

- ・アプリケーションによっては正しく動作しないことがあります。
- ・スキャンディスク、バックアップ、およびデフラグなど、「アクセサリ」の「システムツール」にあるディスク管理ツールはFAT32に対応しています。ただし、「ドライブスペース」でFAT32のドライブを圧縮することはできません。
- ・FAT32は、本機にインストールされているWindows 98で使うことができます。
- ・FAT16に戻すには、カスタム再セットアップする必要があります。

FAT32の設定方法

FAT32を利用するには、「FDISK」コマンドを使用して領域を作成します。「FDISK」コマンドは、ハードディスクに領域を作成したり、削除したりするプログラムです。

本機では、ドライブコンバータ(FAT32)を利用して、FAT32に変換することもできます。ドライブコンバータ(FAT32)について詳しくは、ヘルプをご覧ください。

参照 ヘルプを利用するには→『困ったときのQ&A』PART1の「ヘルプを利用する」

チェック! 領域を削除すると、お客様がセットアップしたシステムやアプリケーション、データファイルもすべて削除されます。大切なデータやファイルは、領域を削除する前に必ずフロッピーディスクなどの別の媒体に保存してください。

1 本機を起動し、「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

「MS-DOSプロンプト」の画面が表示されます。

2 FDISK /Xと入力し、【Enter】を押す

ハードディスクの容量が512Mバイト以上のときは、次のような大容量ディスクのサポートを行うかどうかを確認するメッセージが表示されます。

512 M以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスクのサポートが限られています。ディスク領域を有効に保つためには、2GB以上のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブを作成した場合、ほかのオペレーティングシステムを稼働させての新しいドライブにアクセスすることはできません。(Windows 95とWindows NTの特定のバージョン、以前のバージョンのWindowsと4GB-8GBを要する)。また、FAT32ファイルシステム用に設計されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。このディスクではほかのオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティにアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートは使用しないでください。大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)? [Y]

3 【Y】を押して【Enter】を押して領域を作成する

512Mバイト以上の領域を作成すると、その領域にはFAT32が適用されます。

作成した領域のサイズが512Mバイトよりも小さいときは、自動的にFAT16が適用されます。

4 「FDISK」コマンドで領域を作成したあとに、Windows 98を再起動してドライブをフォーマットする

作成した領域が利用できるようになります。

P A R T

3

他のOSを利用する

Windows NT 4.0を本機で使用方法を説明しています。

このPARTの内容

Windows NT 4.0を使う



Windows NT 4.0を使う

本機でWindows NT 4.0を使うための注意事項やセットアップについて説明しています。

Windows NT 4.0を使用する際の注意

本機でWindows NT 4.0を使う場合は、次の点に注意してください。

- ・ Windows NT 4.0はUSB機器をサポートしていません。
- ・ Windows NT Server 4.0は使用できません。

◆ LW23D、LW23C/52C、LW23C/52Dの場合

Windows NT 4.0ではサスペンド／レジュームをサポートしていません。
BIOSセットアップメニューの「省電力設定」で次のように設定してください。

省電力	: 使用しない
電源スイッチ	: パワーオフ

◆ その他のモデルの場合

Windows NT 4.0では、次のような場合はサスペンドをしないでください。

- ・ PCカードを使用中
- ・ ハードディスク、CD-ROMドライブ、フロッピーディスクにアクセス中
- ・ プリンタへ出力中
- ・ 通信用アプリケーションを実行中
- ・ 音声または動画を再生中
- ・ Windows NTのシャットダウン中

また、省電力機能で問題が発生する場合は、サスペンド／レジューム機能を無効にしてください。

BIOSセットアップユーティリティの「省電力」で次のように設定します。

パワーマネージメント	: 使用しない
スリープボタン	: 使用しない
LCD連動スリープ	: 使用しない

◎ Windows NT 4.0のセットアップについて

本機でWindows NT 4.0をセットアップするには、次の手順で行います。

1. Windows NT 4.0のセットアップ

- 1-1 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項
- 1-2 Windows NT 4.0をセットアップする
- 1-3 ドライバをアップデートする

- 2. 内蔵アクセラレータの利用
- 3. 内蔵サウンドの利用
- 4. NXパッドの拡張
- 5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ)
- 6. FAXモデムカードのセットアップ(LT23Dのみ)
- 7. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ(LT23D、LB26C、LW23C/5DC、LW23C/5DDのみ)
- 8. Windows NT 4.0アップデートサービスService Pack 3の利用

 **チェック!!**・ドライバのアップデートはシステム管理者が行ってください。

- ・本機に添付されているドライバは本機専用です。他機種では使用できません。
- ・ここでは、Windows 98がインストールされているドライブ :Cドライブ、フロッピーディスクドライブ :A ドライブ、CD-ROMドライブ:Eドライブとして説明します。実際と異なる場合は読み替えてください。
- ・セットアップの前に1.44Mバイトフォーマット済みのフロッピーディスク1枚を用意し、ラベル に「システム修復ディスク」と記入しておいてください。

1. Windows NT 4.0のセットアップ

◎ 1-1 Windows NT 4.0をセットアップする前の確認事項

本機にWindows NT 4.0を新規に組み込む場合は、セットアップ前に「アプリケーションCD-ROM」の¥NT40ディレクトリに格納された「README.TXT」を必ずお読みください。

また、Windows NT 4.0のマニュアルも必ずお読みください。

 **チェック!!** 本体内蔵のハードディスクは、FAT32形式でフォーマットされているため、そのままではWindows NT4.0は認識されませんので、Windows NT 4.0マルチブート機能で既存のOSを起動することができません。

◎ 1-2 Windows NT 4.0をセットアップする

CD-ROMドライブ搭載モデルは、Windows NT 4.0のマニュアルをご覧ください。
なり、Windows NT 4.0のセットアップを行ってください。

CD-ROMドライブを搭載していないモデルでは、別売のCD-ROMドライブ
やネットワークを利用してWindows 98のMS-DOSプロンプトからWINNT
コマンドでセットアップを行います。

次の手順でセットアップを行ってください。

1 ネットワークを利用する場合は、Windows NT 4.0のソースファイル(Windows NT CD-ROM Disc 1のi386ディレクトリ下のファイル)をネットワークサーバの共有ドライブにコピーする

2 Windows 98 を起動する

CD-ROMドライブにWindows NT 4.0のCD-ROM Disc 1をセットします。

ネットワークを利用する場合は、手順1でWindows NT 4.0のソースをコピーした共有ドライブに接続します。

3 MS-DOSプロンプトからCD-ROMや共有ドライブ上のWINNTコマンドを実行する

ここでは、ドライブ名を Q、ディレクトリ名をi386として説明します。実際と異なる場合は、読みかえてください。

Q: [Enter]

CD ¥i386 [Enter]

WINNT /B [Enter]

4 このあとは、画面に表示されるメッセージに従ってセットアップを行う

 **チェック!!** 内蔵FAXモデムを使用するリモートアクセスサービスの設定は、Windows NT 4.0のセットアップ時ではなく、内蔵FAXモデムのセットアップ終了後に行ってください。

◎ 1-3 ドライバをアップデートする

次の手順でドライバのアップデートをします。

 **チェック!!** ドライバをアップデートする前に、Microsoft Windows NT 4.0アップデートサービス「Service Pack 3」をインストールしてください(→p.140)。

- 1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「コマンドプロンプト」をクリックして、コマンドプロンプトを起動する
- 2 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 3 Windows NT 4.0のコマンドプロンプトから次のように入力する
E:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】
カレントディレクトリがEドライブのルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する
UPDATE【Enter】
- 4 LW23C/5DC、LW23C/5DDの場合、再度コマンドプロンプトから次のように入力する
E:【Enter】
CD ¥NT40【Enter】
カレントディレクトリがEドライブのルートディレクトリであることを確認して、次のように入力する
UPDATE2【Enter】
- 5 画面に表示されるメッセージ内容をよく確認しながら画面の指示に従う

以上でWindows NT 4.0のセットアップは終了しました。アップデートしたドライバは再起動後に有効になります。

再起動するときは、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出してください。

2. 内蔵アクセラレータの利用

内蔵アクセラレータを利用するには、次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「画面」アイコンをダブルクリックする
- 2 「ディスプレイの設定」タブをクリックする

3 「ディスプレイの種類」ボタンをクリックする

4 「変更」ボタンをクリックする

5 「ディスク使用」ボタンをクリックする

6 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットし、次のディレクトリを指定して、「OK」ボタンをクリックする

- ・LW23C/52C、LW23C/52D、LW23D、LB26Cの場合
・・・E:¥NT40 ¥NMG4
- ・LT23Dの場合・・・E:¥NT40 ¥TRIDENT
- ・LW23C/5DC、LW23C/5DDの場合・・・E:¥NT40 ¥NMG4A

7 「ディスプレイ」リストボックスから、次のドライバを選択する

- ・LW23C、LW23D、LB26Cの場合
・・・NeoMagic MagicGraph128 Family
- ・LT23Dの場合・・・Trident Video Accelerator

8 「OK」ボタンをクリックする

当社以外のドライバ組み込み確認のメッセージが表示されます。

9 「はい」ボタンをクリックする

ドライバ組み込みの結果が表示されます。

10 「OK」ボタンをクリックする

11 「閉じる」ボタンをクリックする

12 「閉じる」ボタンをクリックする

「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

13 CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、「はい」ボタンをクリックする

以上でアクセラレータドライバのセットアップが終了しました。次回起動時から、アクセラレータドライバが有効になります。

3. 内蔵サウンドの利用

次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マルチメディア」アイコンをダブルクリックする
- 2 「デバイス」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックする
- 3 ドライバの一覧から「一覧にない、または更新されたドライバ」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする
- 4 ドライバのインストール画面が表示されたら、「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 5 次のディレクトリを指定して、「OK」ボタンをクリックする
 - ・LB26C、LW23C/5DC、LW23C/5DDの場合
・・・E:¥NT40¥ESS
 - ・LW23C/52C、LW23C/52D、LW23D、LT23Dの場合
・・・E:¥NT40¥MAESTRO2E-A
- 6 ドライバの一覧に次のドライバが選択されていることを確認してから、「OK」ボタンをクリックする
 - ・LB26C、LW23C/5DC、LW23C/5DDの場合
・・・ES1879/1869/1878/1868/1888/1887 AudioDrive 2
 - ・LW23C/52C、LW23C/52D、LW23D、LT23Dの場合
・・・ESS Maestro PCI Driver 4.00.18
- 7 再起動に関するメッセージが表示されるので、CD-ROMドライブから、「アプリケーションCD-ROM」を取り出して、「再起動する」ボタンをクリックする
Windows NTが再起動します。再起動後にドライバが有効になります。

4. NXパッドの拡張

NXパッド対応の拡張ドライバを利用することにより、オートジャンプ、タッピングなど、NXパッドの機能を拡張することができます。

次の手順でセットアップを行います。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする
- 2 「全般」タブをクリックする
- 3 「変更」ボタンをクリックする
- 4 「デバイスの選択」で、「ディスク使用」をクリックする
- 5 ドライバのインストール画面になったら、「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 6 CD-ROMドライブ名とSLIDEPADディレクトリ(E: ¥NT40 ¥SLIDEPAD)を指定して「OK」ボタンをクリックする
- 7 モデルの一覧から「NX PAD」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする
- 8 「デバイスのインストールの確認」で「はい」ボタンをクリックする
- 9 ファイルのコピーが終了したら、「マウスのプロパティ」で「閉じる」ボタンをクリックする
- 10 再起動に関するメッセージが表示されるので、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出し、「はい」ボタンをクリックしてWindows NTを再起動させる
再起動後にドライバが有効になります。

NXパッドの拡張機能の設定は、次の手順で行います。

- 1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックする

2 必要に応じて設定を行う

設定方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

3 設定が終了したら、「マウスのプロパティ」で「OK」ボタンをクリックする

「マウスのプロパティ」が閉じて、設定が有効になります。

5. 内蔵FAXモデムのセットアップ(FAXモデム内蔵モデルのみ)

次の手順でセットアップを行います。

この手順は、FAXモデム内蔵モデルにのみ必要な手順です。

1 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする

2 「追加」ボタンをクリックする

3 「新しいポートの詳細設定」画面で各設定を選ぶ

「COMポートの番号」は必ず「2」を選んでください。

「I/Oポートアドレス」は他のデバイスと競合しない値を選択してください。

「割り込み番号」は、『活用ガイド ハードウェア編』PART4の「割り込みレベル・DMAチャンネル」の割り込みレベル一覧に記載されている値を設定してください。

4 「OK」ボタンをクリックする

5 「システム設定の変更」で「再起動しない」をクリックする

6 「閉じる」ボタンをクリックする

7 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする

8 「新しいモデムのインストール」で「モデムを一覧から選択するの で検出しない」をチェックし、「次へ」ボタンをクリックする

- 9** 「ディスク使用」ボタンをクリックする
- 10** 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする
- 11** 「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力し、「OK」をクリックする
- LB26C、LW23C/52C、LW23C/52D、LW23Dの場合
E:¥NT40¥LTMODEM
 - LW23C/5DC、LW23C/5DDの場合
E:¥NT40¥LTMODEM2
- 12** 次のドライバが選択されていることを確認し、「次へ」をクリックする
- LW23C/52C、LW23C/52D、LW23Dの場合
LT Win Modem
 - その他のモデルの場合
NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice(ZUQ)
- 13** どのポートにインストールするかを訊いてくるので、「選択したポート」をチェックする
- 14** 「COM2」を選択して「次へ」ボタンをクリックする
- 15** 「所在地情報」を設定して「次へ」ボタンをクリックする
- 16** 「次へ」ボタンをクリックする
- 17** 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

6. FAXモデムカードのセットアップ(LT23Dのみ)

次の手順でセットアップを行います。

この手順は、FAXモデムカード標準添付モデルにのみ必要な手順です。

- 1** PK-UG-J006を本機にセットした後、電源を入れWindows NT 4.0を起動する

2 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックする

3 「新しいモデムのインストール」画面で、「次へ」ボタンをクリックする

4 モデム名が「標準モデム」と表示されているのを確認し、「変更」ボタンをクリックする

 **チェック!!** 何も検出されない場合、割り込みレベル (IRQ) が競合している可能性があります。「キャンセル」ボタンをクリックして、モデムのセットアップを中止してください。「割り込みレベル (IRQ) の変更」を参照して変更後、再度セットアップを行ってください。

5 「ディスク使用」ボタンをクリックする

6 CD-ROMドライブに「アプリケーションCD-ROM」をセットする

7 「フロッピーディスクからインストール」画面で次のように入力し、[OK] ボタンをクリックする

E: ¥NT40 ¥MODEM

8 「OK」ボタンをクリックする

9 「NEC PK-UG-J006」を選択し、「次へ」ボタンをクリックする

10 「NEC PK-UG-J006」が選択されていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックする

11 「所在地情報」を設定して、「次へ」ボタンをクリックする

12 「次へ」ボタンをクリックする

13 以後は画面のメッセージに従って操作し、セットアップを終了する

◎ 割り込みレベル (IRQ) の変更

- 1** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「PCカード (PCMCIA)」アイコンをダブルクリックする
- 2** 「PCカード (PCMCIA) デバイス」画面で、「NEC PK-UG-J006」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックする
- 3** 「NEC PK-UG-J006 プロパティ」画面が表示されるので、デバイスマップのCOM番号を確認して、「OK」または「キャンセル」ボタンをクリックする
- 4** 「PCカード (PCMCIA) デバイス」画面に戻るので、「OK」または「キャンセル」ボタンをクリックする
- 5** 「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」で「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」アイコンをダブルクリックする
- 6** 手順3で確認したCOM番号のポートを選択し、「設定」ボタンをクリックする
- 7** 「詳細」ボタンをクリックする
- 8** 割り込み番号 (IRQ) を変更し、「OK」ボタンをクリックする
- 9** 「システム設定の変更」画面で、「再起動しない」をクリックする
- 10** 「閉じる」ボタンをクリックする
- 11** 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする
- 12** 「ファイル名を指定して実行」画面で、「regedt32」と入力し「OK」ボタンをクリックする

13 「ウィンドウ」メニューの「ローカルマシン上の HKEY_LOCAL_MACHINE」をクリックする

14 次のツリーにカーソルを合わせる

¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet
¥Services¥Serial¥Parameters¥Serial1

15 「編集」メニューの「値の追加」をクリックする

16 「値の追加」画面で、値の名前に「Pcmcia」と入力し、データタイプは「REG_DWORD」を選択し、「OK」ボタンをクリックする

17 「DWORDエディタ」画面が表示されるので、データには「1」を入力し、「OK」ボタンをクリックする

18 レジストリエディタを終了して、Windows NTを再起動する

7. BIOSセットアップユーティリティのセットアップ

LT23D、LB26C、LW23C/5DC、LW23C/5DDでのみ、以下のセットアップを行います。

BIOSセットアップユーティリティを利用するため、次の手順でセットアップします。

1 「アプリケーションCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットする

2 「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックする

3 「ファイル名を指定して実行」画面で「E: ¥NT40¥BiosSetup¥SETUP」と入力して、「OK」ボタンをクリックする
インストール画面が表示されます。

4 「ようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

5 「インストール先の選択」で「次へ」ボタンをクリックする

6 「ファイルコピーの開始」で「次へ」ボタンをクリックする

7 「セットアップ完了」で、CD-ROMドライブから「アプリケーションCD-ROM」を取り出して、「終了」ボタンをクリックする

これでBIOSセットアップユーティリティのセットアップは完了です。

- ✓ **チェック!!** Windows NT 4.0用BIOSセットアップユーティリティを起動するには、「スタート」ボタン→「プログラム」→「BIOSセットアップユーティリティ」をクリックします。

8. Windows NT 4.0アップデートサービス Service Pack 3の利用

Microsoft Windows NT4.0アップデートサービス「Service Pack 3」を適用する場合は、必ず次の手順で行ってください。

新しいコンポーネント(ドライバなど)を追加または変更した場合は、再度Service Pack 3をインストールしてください。

- ✓ **チェック!!** Service Pack 3インストール後は、必ずドライバをアップデートしてください。

1 Service Pack 3の「README.TXT」を読む

2 Service Pack 3のインストールを行う

再起動を促すメッセージが表示されますが、再起動せずにドライバのアップデートを行います。

3 「1-3 ドライバをアップデートする」の手順でドライバをアップデートする

- ✓ **チェック!!** ファイルコピーの途中で、「コピー先には、コピー元より新しいファイルが存在します。上書きしますか?」のメッセージが表示された場合は、「すべて上書きしない」を選択してください。

4 本機を再起動する

設定は、本機の再起動後に有効になります。

付録

ここでは、本機の機能に関連した補足情報を記載してあります。

このPARTの内容

Windows 98でMS-DOSモードを利用する
コンピュータウイルス対策



Windows 98でMS-DOSモードを利用する

Windows 98のMS-DOSモードを利用するときの注意事項を説明しています。

MS-DOSモードを利用する

MS-DOSモードを利用すると、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境で本機を使うことができます。

◎ 本機をMS-DOSモードで再起動する

MS-DOSモードを利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

2 「MS-DOSモードで再起動する」をクリックして、「OK」ボタンをクリックする

本機がMS-DOSモードで再起動します。

◎ MS-DOSモードを終了する

1 コマンドプロンプトの画面から、次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

◎ MS-DOSモードとMS-DOSプロンプトの違い

MS-DOSを利用するには、「MS-DOSモード」と「MS-DOSプロンプト」とがあります。「MS-DOSモード」は、従来のMS-DOSで起動したときと同じような環境になるため、他のアプリケーションと一緒に使うことはできません。「MS-DOSプロンプト」は、MS-DOSをWindows 98上でマルチタスクのアプリケーションとして使用できるようにしたものです。「MS-DOSプロンプト」を利用するには、次のように操作します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「MS-DOSプロンプト」をクリックする

「MS-DOS プロンプト」ウィンドウが表示されます。なお、「MS-DOS モード」または「MS-DOSプロンプト」からは使用できないコマンドやアプリケーションもあります。

CD-ROMドライバ(内蔵CD-ROMドライブ)

本機は、ご購入時の設定では、MS-DOSモードでCD-ROMドライブを使用することはできません。MS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使用する場合は、次の手順が必要です。

◎ 現在のMS-DOSモードで内蔵のCD-ROMドライブを使う場合

現在のMS-DOS設定を使う場合で、MS-DOSモード上でCD-ROMを使うときには、次の手順を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

2 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする

本機がMS-DOSモードで再起動します。

3 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

SETCD /A【Enter】

CD-ROMドライバがCONFIG.SYS、DOSSTART.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、DOSSTART.BATは拡張子SCDとして保存されます。

4 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

EXIT【Enter】

Windows 98が再起動します。

5 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

6 「再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする
本機が再起動します。

7 「スタート」ボタン→「Windowsの終了」をクリックする

8 「MS-DOSモードで再起動する」を選択して、「OK」ボタンをクリックする

MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

新しいMS-DOS設定を指定する場合

◎ 新しいMS-DOS設定を指定する

新しいMS-DOS設定を指定する場合、MS-DOSモード上でCD-ROMドライブを使用するには、次の手順で行ってください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する

「エクスプローラ」が表示されます。

2 C: ¥COMMAND.COMをクリックする

プログラム名が反転表示されます。

COMMAND.COMは、COMMANDと表示されることもあります。表示の設定を変更するには、『困ったときのQ&A』PART2の「ファイル、フォルダがおかしい」の中の「ファイルの拡張子が表示されない」をご覧ください。

3 「エクスプローラ」の「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックするか、COMMAND.COMを右クリックして「プロパティ」をクリックする

「Commandプロパティ」が表示されます。

4 「プログラム」タブをクリックして、「詳細設定」ボタンをクリックする

「プログラムの詳細設定」が表示されます。

5 「MS-DOSモード」をクリックして、「新しいMS-DOS設定を指定する」チェックボックスにチェックをつける

CONFIG.SYSとAUTOEXEC.BATの内容が編集できるようになります。

6 「OK」ボタンをクリックする

「プログラムの詳細設定」が閉じます。

7 「OK」ボタンをクリックする

「プロパティ」が閉じます。

8 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする

MS-DOSモードが起動します。

9 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

```
SETCD /A【Enter】
```

CD-ROMドライブがCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATに追加され、SETCD実行前のCONFIG.SYS、AUTOEXEC.BATは拡張子SCDとして保存されます。

10 コマンドプロンプトの画面から次のように入力する

```
EXIT【Enter】
```

Windows 98が再起動します。

11 エクスプローラを起動していない場合は、「スタート」ボタン→「プログラム」→「エクスプローラ」でエクスプローラを起動する

「エクスプローラ」が表示されます。

12 「エクスプローラ」で新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMをダブルクリックする

MS-DOSモードが起動し、CD-ROMドライブがQドライブに割り当てられます。

 **チェック!!** 新しいMS-DOS設定したCOMMAND.COMを起動した場合は、次のようなメッセージが表示されることがあります。

「このプログラムはMS-DOSモードで実行するように設定されており、ほかのプログラムの動作中には実行できません。続行するとほかのプログラムをすべて終了します。続行しますか?」

コンピュータウィルス対策

ここでは、コンピュータウィルスとはどんなものか、また、ウィルスの予防法や検査するためのアプリケーションについて説明しています。

用語 コンピュータウィルス

コンピュータウィルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気がつかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

◎ コンピュータウィルスの種類

コンピュータウィルスが「ウィルス」と呼ばれるのは、外部から正常なシステムに入りこんだり、障害が発生するまで潜伏期間があったりするところが、本物のウィルスと類似しているからです。システムに入り込まれてしまうことを感染、プログラムに障害が発生することを発病と言います。

ウィルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

・ファイル感染型ウィルス

一般に、実行型ファイル(拡張子が.EXEや.COM)に感染するタイプのウィルスです。ファイル感染型ウィルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウィルスプログラムの本体であるウィルスコードを付着させます。

・マクロ感染型ウィルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウィルスのことです。マクロ機能は、ワープロ文書や表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウィルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

・ブートセクタ型ウィルス

コンピュータの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウィルスは、この領域に感染するタイプのウィルスです。本来のブートセクタの内容をウィルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

◎ コンピュータウィルスの感染を防ぐために

フロッピーディスクやネットワークを利用して、プログラムやデータのやりとりを繰り返していると、ウィルスに感染したプログラムやデータを受け取る可能性があります。ウィルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

- ・ フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する。
- ・ 出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない。
- ・ 入手したプログラムはウィルス検査をすませてから使用する。
- ・ パーソナルコンピュータのウィルス検査は定期的に行う。

本機には、ウィルスチェッカー「VirusScan」が用意されています。ウィルスチェッカーを定期的に利用して、ウィルスに感染していないかどうか、チェックされることをおすすめします。また、新種のウィルスに対応できるよう、ウィルスチェッカーは定期的に最新のものに更新してください。



参照 VirusScanの使い方→「VirusScan」(p. 66)

万一、コンピュータウィルスに感染してしまった場合は、最寄りのNECサービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

また、定期的にディスク全体のバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウィルスに感染してしまったときにも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

◎ コンピュータウィルスを発見したら

ウィルスの駆除には、該当ファイルを削除して、アプリケーションのオリジナル媒体またはバックアップから再インストールすることが一番安全で確実な方法です。なお、感染したウィルスがブートセクタ型の場合、またはブートセクタがウィルスに感染した可能性がある段階ではこの方法は使えません。

また、2次感染を防ぐため、ウィルスが発見された場合は、使用した媒体(フロッピーディスク、ハードディスクなど)をすべてウィルス検査する必要があります。

◎ コンピュータウィルスの被害届について

日本では、企業でも個人でもウィルスを発見した場合は、所定の機関に届けることが義務づけられています。ウィルスの届け出先として、情報処理振興事業協会という通産省の外郭団体(通称 IPA)がウィルス技術調査室を設置しており、そこを届け出先として指定しています。これは、ウィルスの対策基準として平成7年7月に通産省から官報で告知されたもので(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)、届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況を正しく把握するためにも積極的に報告してください。届け出の内容は、今後の被害対策のための貴重な情報となります。

IPA本部

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目1番38号

秀和芝公園3丁目ビル

電話 03-3437-2301

FAX 03-3437-5386

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



索引

索引

英字

Acrobat Reader 3.0J	56
Angel Line	48
AOL	33
BIGLOBEインターネット接続ツール ..	21
BIGLOBEインターネット無料体験	23
CD-ROMドライバ	143
CyberTrio-NX	58
CyberWarner-NX	62
Draw 98	13, 112
Excel 97	13, 112
FAX-NX	40
FullBand	9
Intellisync	42
MS-DOSプロンプト	142
MS-DOSモード	142
NEC Soft MPEG1.0	50
Outlook 98	13, 112
VirusScan	66
Windows NT 4.0	128
Word 98	13, 112

あ行

アプリケーション	2
一太郎	9, 119
一太郎9バック	9, 119
インターネットアクセスマネージャ	25
英語モードフォント	70
駅すばあと	72

か行

カスタム再セットアップ	82
コンピュータウィルス	66, 147

さ行

再セットアップ	82
三四郎8	9
ジェットサーファー	28

な行

ニフティサーブでインターネット	35
-----------------------	----

は行

花子9	9
パソコン用語集	78
標準再セットアップ	82
筆ぐるめ	75
プレーヤ-NX	53
翻訳アダプタII CROSSROAD	30



活用ガイド ソフトウェア編

PC98-**NX** SERIES

LaVie **NX**

(Windows 98 インストール)

初版 1998年10月

NEC

P



このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。